

インドネシア共和国  
貿易研修センター協力事業  
終了時評価調査団報告書

1993年11月

国際協力事業団

JICA LIBRARY



J 1125157(6)

鉦開協

JR

93-40







インドネシア共和国  
貿易研修センター協力事業  
終了時評価調査団報告書

1993年11月

国際協力事業団



1125157 [6]

## 序 文

インドネシア国政府は非石油・非天然ガス製品の育成ならびに輸出振興を通じ、石油依存型の産業構造の転換を急いでいる。この政策の一環として、同国政府は商業省に貿易研修センターを設立し、広く輸出振興に寄与する人材の育成を図ることとし、我が国に対し協力を要請してきた。

この要請を受けて我が国政府は、無償資金協力を通じ、センター施設の整備ならびに諸機材の供与を行う一方、プロジェクト方式技術協力を通じて、同センターの運営に必要な人材の育成を図ることとした。

我が国政府は、1986年6月にコンタクト調査団を、また、1987年1月に事前調査団を、国際協力事業団（JICA）を通じて派遣し、要請の背景、計画の妥当性ならびに協力の規模等を調査し、その後さらに協力内容の詳細を詰めるための長期調査員の派遣を経て、1988年8月に実施協議調査団を派遣して討議議事録（Record of Discussions）の署名を行った。以来、本件プロジェクトは、同討議議事録に基づき、1988年9月2日から1993年9月1日までの5年間にわたり技術協力を実施中である。

プロジェクト開始後約4年9ヶ月を経過し、ほぼ協力期間を終了した現時点において、JICAはプロジェクトの進捗状況を確認し、当初計画に対する協力および技術移転達成度についてインドネシア側関係者と合同で評価を行うことを主な目的として、1993年6月7日から6月16日まで終了時評価調査団を派遣した。

本報告書は同調査団の調査結果をとりまとめたものである。ここに本調査団の派遣に関し、ご協力いただいた日・伊両国の関係各位に対し深甚の謝意を表するとともに、あわせて今後のご支援をお願いする次第である。

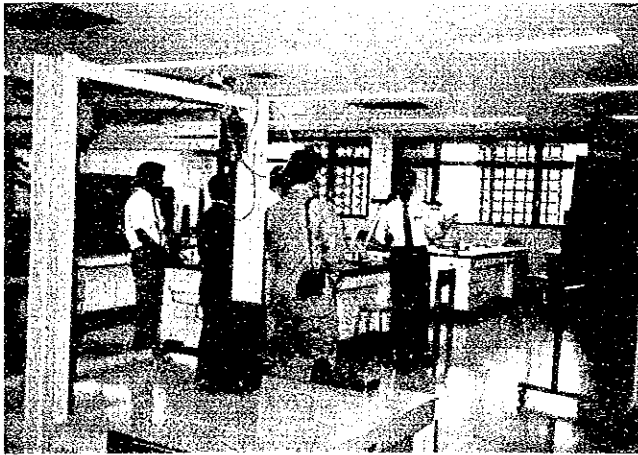
1993年11月

国際協力事業団

理事 田 守 栄 一



▲ ミニッツ署名・交換



▲ 木工・ラタン製品検査ラボ



▲ 繊維・衣料品検査ラボ



▲ ゴム・ゴム製品検査ラボ



▲ 食品検査ラボ



# 目 次

序 文  
写 真

1. 調査結果の要約 .....	1
2. 終了時評価調査団派遣 .....	3
2-1 調査団派遣の経緯と目的 .....	3
2-2 調査団の構成 .....	3
2-3 調査日程 .....	4
2-4 主要面談者 .....	5
2-5 終了時評価手法 .....	6
3. 協力実施の経過 .....	8
3-1 相手国の要請内容と背景 .....	8
3-2 暫定実施計画(TSI)と技術協力計画(TCP) .....	8
3-3 他の事業との連携 .....	8
4. 協力目標達成度 .....	9
4-1 上位計画との整合性 .....	9
4-2 プロジェクト目的の達成度 .....	9
4-3 インプット目標の達成度 .....	10
4-4 アウトプット目標の達成度 .....	11
5. プロジェクトの波及効果 .....	15
5-1 効果の内容 .....	15
5-2 効果の広がりと受益者の範囲 .....	15
6. 自立発展性の見通し .....	17
6-1 組織的な自立発展の見通し .....	17
6-2 財務的な自立発展の見通し .....	17

6-3 物的・技術的自立発展の見通し .....	17
7. フォローアップの必要性 .....	20
8. 評価結果総括 .....	21
添 付 資 料	
1. ミニッツ .....	23
2. 合同評価レポート .....	28
3. 終了時ロジカルフレームワーク .....	58
4. 暫定実施計画 (TSI) .....	59
5. 技術協力計画 (TCP) .....	61
6. 調査団派遣実績 .....	68
7. 専門家派遣実績 .....	71
7-1 長期専門家 .....	71
7-2 短期専門家 .....	72
8. 研修員受入実績 .....	73
9. 機材供与実績 .....	74
10. 商業省組織図 .....	79
11. 貿易研修センター組織図 .....	80
12. 貿易研修センター人員一覧 .....	81
13. トレーニングプログラム概要 (参考) .....	84

## 1. 調査結果の要約

本プロジェクトは1988年9月2日に討議議事録 (Record of Discussions. 以下R/Dと称す) を署名し、5年間の技術協力を開始した。以来1993年5月末までの間に、長期派遣専門家16人および短期派遣専門家22人の計38人を派遣し、延べ31人の研修員を受け入れた。

また、機材供与に関しては、現在までに、輸出検査関連機材、書籍等を中心に CIF 価格で約55百万円を購送した。

本プロジェクトは、上記R/Dにおいて、その協力目的を、「インドネシアの輸出振興に貢献すべく、貿易研修センターを設立し、貿易・商業日本語・輸出検査ならびに展示の各分野での人材の養成を図る」ことに置いているが、この目的の達成度は、同センターにおける、各分野の指導員たるべきインドネシア側カウンターパート (以下C/Pと称す) の育成を基礎とする、同センターの自立的・継続的發展・運営をもって図られることとなる。

こうした観点から、これまでの協力の足跡を評価した結果、本プロジェクトは全体として、その目的を達しつつあるものと思われる。特に輸出検査部門における技術移転はほぼ順調に計画通り進み、インドネシア側C/Pは、日本人専門家の指導をベースに、現在では自力で各研修コースの講義を運営することができるまでに成長しており、こうした研修コースの内外からのニーズも高まっている。

その一方、貿易研修・商業日本語および展示研修の各分野における技術移転は、いまだ不十分で、とりわけ貿易研修・展示研修については、そのニーズが高いにもかかわらず、C/Pが自力で運営し得る講義は限られており、かなりの部分を外部講師に頼らざるを得ない状況が続いている。

この原因としては、内外からのニーズに即応した我が方のC/P指導について、不十分さ、ないし的確さを欠く部分がやや認められるものの、C/P人数の不足や異動、および実務経験の不足による理解不足、といった要因が大きいものと思われ、かかる点についてのセンターの改善努力が望まれる。

また、今回の調査ならびに協議を通じ、センター運営にかかる予算状況については、各研修コースが軌道に乗りつつあることを反映して、自己予算が順次増えつつあることが確認されたが、今後とも諸機材の維持管理費ならびに人件費の増大に備え、インドネシア側政府による十分な措置が講じられるべきであるとの認識を得た。

現下の経済・貿易状況にあって、同センターの存在意義が極めて高いことは、今回表敬を行った技術協力調整委員会ならびに商業省よりも説明があったところであり、このことは上記のような問題をいくつか抱えながらも、これまでに3,000名を超える各研修コースへの参加者を得たこ

とでも明らかであろう。

こうした点に鑑み、同センターの機能をより強化すべく、上述の貿易研修・商業日本語および展示研修の各分野については、なお我が方よりの一定のフォローアップが望まれるところである。

なお、本件協力については、本邦に国内支援を担う組織を得ることができなかったことにより、適切な専門家のリクルートないし研修員の本邦研修を行う上で、少なからず困難を生じたことは否めないところであり、今回ヒアリングを行ったC/Pからも同様の指摘があった。今後当該分野の協力を実施する際には、是非とも、この点につき留意していく必要がある。

## 2. 終了時評価調査団派遣

### 2-1 調査団派遣の経緯と目的

「インドネシア国貿易研修センター」に対するプロジェクト方式技術協力要請は、1985年6月にインドネシア国政府から日本国政府に対して正式要請された。

この要請を受けて我が国政府は、国際協力事業団（JICA）を通じて1986年6月にコンタクト調査団を、また、1987年1月に事前調査団を、派遣し、要請の背景、計画の妥当性、協力の規模等を調査し、その後さらに協力内容の詳細を詰めるための長期調査員の派遣を経て、1988年8月に実施協議調査団を派遣してR/Dの署名を行った。

以来、本件プロジェクトにおいて、同討議議事録に基づき、1988年9月2日から5年間にわたる技術協力が開始され、1993年5月末現在まで、長期、短期合わせて延べ38人の専門家が派遣され、技術協力はほぼ完了しようとしているところである。

プロジェクト終了の1993年9月1日まで後約3ヶ月を控えた現時点において、JICAはプロジェクトの投入実績の確認および協力目標の達成度の評価を行い、今後のプロジェクトの自立・発展性についてインドネシア側関係者と協議を行うことを主な目的として、1993年6月7日から6月16日まで終了時評価調査団を派遣した。

なお、我が国政府では、上記技術協力をを行う一方、インドネシア国政府の要請に基づき、同センターの建屋・施設・機材の整備を無償資金協力事業によって行い（20億2,400万円）、1989年5月23日にインドネシア側へ引き渡している。本件技術協力は、同無償資金協力により供与された施設・諸機材を活用しつつ、実施してきている。

### 2-2 調査団の構成

担当分野	氏名	所属先
団長・総括	和田 巖	国際協力事業団 国際協力総合研修所 国際協力専門員（工業開発）
技術協力計画 （輸出検査）	三木 常秀	通商産業省 通商産業検査所総務部国際室長
技術協力計画 （輸出検査）	木内 利助	農林水産省 東京農林水産消費技術センター 国際業務課指導官
プロジェクト 計画評価	神谷 克彦	国際協力事業団 鉦工業開発協力部開発協力課員
協力実績調査	平川 伸明	(財)日本国際協力センター 開発部開発業務課員

2-3 調査日程

派遣期間 1993年6月7日～6月16日 (10日間)

月 日	行 程	調 査 事 項 等
6月7日(月)	成田 → ジャカルタ	出発/現地着 JICA事務所との打合せ
8日(火)		専門家との打合せ 商業省表敬
9日(水)		技術協力調整委およびBAPPENAS表敬 評価調査(C/P、専門家)
10日(木)		インドネシア側評価担当者との協議 評価調査(C/P、専門家)
11日(金)		評価調査(C/P、専門家) 合同評価報告書とりまとめ
12日(土)		合同委員会
13日(日)		合同評価報告書とりまとめ
14日(月)		インドネシア側評価担当者との協議 調査団主催レセプション
15日(火)	ジャカルタ →	合同評価報告書・覚書(M/M)署名・交換 JICA事務所・日本大使館報告 現地発
16日(水)	→ 成田	帰 国

## 2-4 主要面談者

### (1) インドネシア側

Mr. Bakir Hasan	Secretary General, Ministry of Trade
Mr. Zaidi	National Development Planning Agency (BAPPENAS)
Dr. Rosediana Suharto	Director, Indonesia Export Training Center
Mr. M. Djufri	Head, Administrative Division, Indonesia Export Training Center
Mr. Nurdin Noor	Head, Operational Division, Indonesia Export Training Center
Ms. Utari Kurnianingsih	Counterpart for Trade Training, IETC
Mr. Jarmansyah Jusuf	Counterpart for Trade Training, IETC
Mr. Nainggolan	Counterpart for Rubber and Rubber Products Training, IETC
Mr. Huzairin	Counterpart for Textile and Garment Training, IETC
Mr. M. Kosasih	Counterpart for Wooden Furniture and Rattan Products Training, IETC
Ms. Merry Maryati	Counterpart for Frozen and Ganned Food Training, IETC
Ms. Julia G. Silalahi	Counterpart for Business Japanese Language Training, IETC
Ms. Istiati Hendraswani	Counterpart for Business Japanese Language Training, IETC
Ms. Sutyaningsih	Counterpart for Business Japanese Language Training, IETC
Ms. Saor M. Tambunan	Counterpart for Exhibition Training

(2) 日本側

本庄孝志	在インドネシア日本大使館 一等書記官
高橋昭	JICA インドネシア事務所 所長
斉藤直樹	同 次長
種田昇	同 所員
小林和正	IETC プロジェクト チームリーダー (長期)
安達秀行	同 業務調整専門家 (長期)
近重均	同 貿易研修専門家 (長期)
大石重行	同 貿易研修専門家 (長期)
竹内阪藏	同 木製品・籐製品検査専門家 (長期)
橋村恒男	同 繊維・衣料品検査専門家 (長期)
山本慧介	同 ゴム・ゴム製品検査専門家 (長期)
菊池嶺	同 冷凍・缶詰食品検査専門家 (長期)
内田ナナ	同 商業日本語専門家 (短期)
藤野茂	同 冷凍・缶詰食品検査専門家 (短期)
掛川光太郎	同 展示研修専門家 (短期)

2-5 終了時評価手法

2-5-1 評価担当者

1) インドネシア側

Director of Indonesia Export Training Center (IETC)

Head of Administrative Div., IETC

Head of Operational Div., IETC

2) 日本側

国際協力事業団 終了時評価調査団

2-5-2 参考資料

定性定量的にこれまでの計画に対する成果および実績を確認・評価するために主として以下の事項を参照した。

1) 討議事録 (1988年9月2日付 Record of Discussions ; R/D)

2) インドネシア側要請書

① 専門家派遣 ; A<sub>1</sub> Form

② 研修員受入れ ; A<sub>2</sub>, A<sub>3</sub> Form

③ 機材供与 ; A<sub>4</sub> Form



3) 日・伊双方の討議議事録 (M/M)、年次協力計画および本プロジェクト実施過程で合意された、その他文書・資料

4) 各調査団報告書、専門家業務報告書

### 2-5-3 評価基準

1) R/Dに明記された、インドネシアの輸出振興に貢献すべく、貿易研修センターを設立し、貿易研修・商業日本語・輸出検査技術ならびに展示研修の各分野での人材の養成を図る、という協力目的は、インドネシア側 C/Pによる同センターの自立的・継続的發展・運営をもって体现される。

2) この観点に立ち、上記 2-5-2 の資料、および技術協力全般ならびに各分野に関する評価調査表を基に、以下の基準で評価を行うこととした。

#### A ; Excellent

R/Dに基づく技術移転を完了し、かつ IETC の自立的・継続的運営は可能と判断される。

#### B ; Good

R/Dに基づく技術移転は完了したが、今後の發展・改善のために IETC の継続的な努力が望まれる。

#### C ; Fair

R/Dに基づく技術移転はほぼ完了したが、移転された技術の応用と發展には困難が存在する。

#### D ; Poor

R/Dに基づく技術移転は不十分である。

### 3. 協力実施の経過

#### 3-1 相手国の要請内容と背景

インドネシア国におうては、80年代中盤以降の世界的な石油価格の下落に伴い、国際収支の悪化をきたしており、その改善のため、非石油・非天然ガス産業の育成、輸出促進が喫緊の課題となっている。第4年次5ヶ年計画(1984~1988)においても、これら製品の輸出振興を図り、同国の輸出産品全体の約3分の1の水準に引き上げることに重点が置かれているが、このためには、非石油産業の振興を図るとともに、世界市場における国際競争力を高めていく必要がある。

その一方で、政府貿易関係部門および民間輸出企業における貿易実務の促進に必要な知識・経験を有する人材の不足、ならびに輸出産品の検査技術・品質管理能力の低さなどから、国際競争力の低迷が続いており、広く輸出促進に寄与する人材を育成することの必要性が認められている。

こうした問題を背景として、インドネシア政府は、輸出貿易実務に関する計画的研修による人材の育成、輸出産品の検査技術および品質管理技術の向上、さらに産品展示手法の紹介を通じた市場拡大・情報交換の拠点として、「貿易研修センター」設立構想を打ち出した。

我が国では、これまでにタイ、フィリピンにおいて同様の貿易研修センターに対して協力を行ってきた経験があるが、インドネシア政府はこうした実績を踏まえ、同センターにおいて将来、各種研修コースの運営に携わるべき人材の養成について、我が国に対し技術協力の要請をしたものである。

#### 3-2 暫定実施計画(TSI)と技術協力計画(TCP)

添付資料4.5.の通り。

#### 3-3 他の事業との連携

インドネシア政府よりは、我が国に対し上記技術協力のほか、センターの建屋・施設ならびに機材の整備についても協力要請がなされ、これを受けて我が国政府は無償資金協力事業を通じ、必要な協力を実施し(E/N供与限度額20億2,400万円)、1989年5月23日にインドネシア側に引き渡しを行った。本件プロジェクト方式技術協力は、同無償資金協力により供与された施設・諸機材を活用しつつ実施してきている(無償資金協力事業計画の詳細については、「インドネシア共和国貿易研修センター設立計画基本設計調査報告書」〈無計二/CR(2)/87-123〉を参照)。

## 4. 協力目標達成度

### 4-1 上位計画との整合性

本プロジェクトは上記3. 3-1でも述べた通り、非石油・非天然ガス産業の育成、輸出促進というインドネシア国政府の政策から演繹された、人材育成を目的とした協力であり、完全な整合性を有していることは、今回の合同評価でも確認された。

### 4-2 プロジェクト目的の達成度

#### 4-2-1 総論

合同評価の結果、専門家による指導、C/Pの本邦研修等を通じ、本プロジェクトは全体として概ね所期の目的を達成しつつある、との評価を得た。その一方で、一部の分野については、なお技術移転に不足が認められた。

#### 4-2-2 研修コース・セミナー

同センターでは、1989～93年までの間に、貿易研修、輸出検査、商業日本語ならびに展示研修の各分野において、3,460名の研修コース・セミナー参加者を得てきている。これら参加者の内訳は、民間企業から約61%、国営企業から約11%、関連機関から約6%、政府機関から約22%となっている。また、地域別では、ジャカルタよりの参加者が63%、それ以外の地域からが37%である。

研修コースは、基本的にC/Pにより運営され、日本人専門家は側面的にアドバイスを行う、といった形で実施されてきている。輸出検査分野については、ほぼC/P自身により、参加者への講義・指導を行うことが可能であるが、貿易研修・展示研修については、C/Pのほか、コースカリキュラムのかなりの部分を依存せざるを得ない状況にある。また、商業日本語については、授業料が他の日本語学校に比してかなり高額であること、C/Pの実力が低いことなどから、多くの参加者を得るには至らず、また、辛うじて初級コースを開設し得るのみといった状況にある。

なお、日本人専門家は、一義的にC/Pの技術指導を業務とし、コース・セミナー参加者への直接講義は行わないこととしているが、センター側の強い要望により、短期専門家を中心に必要に応じ特別講義を行ってきている。

#### 4-3 インプット目標の達成度

##### 4-3-1 日本側

###### 1) 専門家派遣

暫定実施計画ならびに年次計画に則り、1993年5月末現在、長期専門家16名、短期専門家延べ22名の計38名を、各分野について派遣してきている。

展示研修については、インドネシア側は協力開始時より、長期専門家の派遣を強く要望してきているところであるが、同分野における専門家のリクルートは極めて困難であることから、我が方はこれに応えるに至らず、これまでに3名の短期専門家の派遣をもって指導してきている。

###### 2) 研修員受入れ

暫定実施計画ならびに年次計画に則り、1993年5月末現在、31名のC/Pを研修員として受け入れてきている(1987年度受入れ分2名および集団研修参加を含む)。

今回、C/Pより聴取した結果、本邦研修は概ね良好な成果を収めたものと思われるが、その一方で、商業日本語C/Pの一部より、研修施設の選定に的確さを欠いた、また、貿易研修の一部C/Pより、関連企業の視察に終始した、との指摘があった。

###### 3) 供与機材

暫定実施計画ならびに年次計画に則り、1992年度末までに輸出検査機材・試薬、書籍等を中心にCIF価格で約55百万円分を供与した。

これら機材は長期専門家の指導のもと、管理台帳が作成され、無償資金協力を通じて供与された機材とあわせ、ほぼ良好に管理・運用されている。

##### 4-3-2 インドネシア側

###### 1) C/P配置

1993年5月末現在、センターでは106名の職員を擁しているが、このうちC/Pは19名に過ぎず、R/Dで合意された32名を大きく下回っている。また、これまでに配置されたC/Pのうち、約半数が人事異動、転職等により入れ替わっており、専門家が計画的・系統的な技術指導を行う上で、大きな障害となっている。

日本側は、これまでも調査団派遣、合同委員会開催の度ごとに、この点についての善処をセンターに求めてきているところであるが、なお根本的な改善には遠い状況にある。

今回の調査を通じ、先方よりこの原因を明確に確認するには至らなかったが、同センター職員は本来、公務員として人事異動の対象とされており、センター自身の意向を反映し難い状況にあること、また、民間企業に比べ、政府系職員の待遇が著しく低い、等の要因が推察される。

## 2) 予算措置

同センターに対しては、これまで商業省を通じ、開発予算が捻出されてきている。1991～92年以降、研修コース等の展開を通じ、自己予算の配置が可能になったとの由であるが、今回の調査で、各予算項目の内訳および収支について確認するには至らなかった。

仄聞するところでは、予算のかなりの部分を人件費が占めており、施設・機材の維持管理について困難があるとのことである。

## 3) その他協力実施に必要な措置

予算面で制約があるものの、専門家事務室の整備等、協力実施に必要な一定の措置がセンター側により図られてきている。

## 4-4 アウトプット目標の達成度

### 4-4-1 総論

上記4-2で述べた通り、合同評価の結果、専門家による技術移転を通じた、各分野研修コースのカリキュラム確立・内容充実を含むC/Pによる独自の人材育成訓練という目標は、全体として達成されつつあり、2-5に示した評価基準によって、「B」ランクの評価を得た。

しかし分野ごとの評価では、輸出検査において概ね高い達成度を確認した一方、貿易研修、商業日本語、展示研修の各分野では「B」ランクの評価しか得られていない。

### 4-4-2 貿易研修

現在C/Pは3名であるが、うち1名が辛うじて研修コースの講義を行い得る程度であり、他2名については主としてモデレーター(司会・進行役)を勤めているに過ぎない。この原因としては以下の点が挙げられよう。

- ① C/Pは本来、商業省貿易担当職員であり、貿易実務の知識・経験が十分とは言い難い。したがって現状では企業の経営者や管理者が参加する経営コースで自信を持って講義したり、具体的な質問に的確に答えることには、いまだ困難が認められる。これに対して専門家は、当初、貿易実務全般の知識を移転することから始め、最近では研修コース参加者のニーズに応えるべく、特定製品のマーケティング手法、国際貿易の潮流といった、専門的な知識の移転に重点を移してきている。しかしながら、C/Pは、これを知識としては理解できても、講義に生かすには、なお遠いレベルにある。
- ② 協力開始時に配置されたC/Pは比較的優秀な人材であったが、人事異動により全員がセンターを離れ、あるいはセンター内の他部署に移る等の変動が円滑な技術移転を困難にした。

- ③ 当初の技術移転計画においては、貿易実務を初級～上級のレベルに分け、段階的に研修コースを開設することとしていたが、実際には研修コースへの参加者である企業家は、より実践的で時宜を得た知識・情報を得ることを望んでおり、専門家・C/P共に、こうしたニーズに十分には即応し得なかった。

#### 4-4-3 商業日本語

当初計画では、商業日本語コースを初級Ⅰ、初級Ⅱ、中級、上級のレベルに分け、C/Pにより各コースを受け持つことが想定されたが、現時点では、いまだ辛うじて初級Ⅰを実施し得るのみであり、同コースについても不定期に開設されている状態にある。これには以下のような原因が考えられる。

- ① 現在配置されている3名のC/Pのうち、本来日本語を専門とする者は皆無であり、まさにC/P自身の日本語能力を高めるところから始めねばならなかった。協力の前提としては、既に高い日本語能力を身につけているC/Pに対し、日本語教授法、コース運営手法等が移転されるべきであり、この点について、従来、日本側はセンター側に善処を求めてきたが、適確な人材の確保は困難な状況にある。
- ② こうした条件にあつては、専門家としては、やむを得ない措置として、当面、C/P自身の語学力向上のために、何らかの計画的対応を行うことが期待されるものではあったが、残念ながら、これまでに派遣された2名の長期専門家からは、こうした点についてのフォローが十分なされたとは言い難い。
- ③ また一部C/Pより、本邦研修において、研修先である日本語学校の選定が不的確であったため、所期の成果を挙げられなかった、との指摘があった。
- ④ もとより、「商業日本語」の概念が曖昧である上、C/Pの実情に照らせば、5年間の協力において上級コースの独自の運営までを目標とすることには、相当な無理があるものと言わざるを得ず、今後課題を残す結果となった。
- ⑤ 一方センター側についても、前述のC/P配置のほか、政府系機関であるにもかかわらず、ジャカルタ市内の他の日本語学校に比して著しく高額な受講料設定がなされている等、多くの問題を有しており、これらが本分野における円滑な協力の支障となったことが考えられる。

#### 4-4-4 輸出検査

##### ① 木工・ラタン製品

試験・検査にかかる所期の技術移転目標はほぼ完了し、C/Pによる継続的な研修コースの実施は可能な状態にある。

ただし、製造・加工工程および品質管理に関する一般知識の向上については、今後とも、C/P自身による一層の努力が期待される。

#### ② 繊維・衣料品

当初計画された試験・検査にかかる技術移転はほぼ完了し、C/Pによる継続的な研修コースの実施は可能である。

品質管理のうち、統計的手法および抜き取り検査に関する技術移転に若干の不十分さが認められるものの、当該技術に対する業界のニーズが小さいこともあり、研修コースの運営には支障はないものと思われる。

一方、業界のニーズに応じて最近開始した、衣料品の縫製条件についての技術移転は十分ではないので、一層の充実が望ましい。

#### ③ ゴム・ゴム製品

本分野においてもC/Pの異動が頻発し、その都度、技術移転計画の見直しを余儀なくされる等、特に長期専門家は大いに苦慮するところがあった。

しかし、こうした状況にありながらも、なんとか所期の技術移転は達成されつつあり、現行のC/Pによる、供与機材を用いた研修コースの継続は可能と思われる。

その一方で、ゴム・ゴム製品の基礎知識にかかる講義の点で困難が残っており、C/P自身の一層の努力が必要である。

#### ④ 冷凍・缶詰食品

技術移転は当初通り完了し、C/Pによる継続的な研修コースの運営は可能である。

技術移転が順調に推移した要因としては、専門家による適切な指導のほか、食品に関係する専門分野を持つ4名のC/Pは配置され、かつ定着していること、本邦研修においてC/Pの専門分野に配慮した長期間の研修を実施し得たこと、が挙げられる。

一方、品質管理については、必ずしも実地研修が十分であるとは言えず、実際の応用面での品質管理技術の向上が望まれる。

### 4-4-5 展示研修

本分野については、内外からのニーズが高いにもかかわらず、定員5名に対して2名のC/Pが配置されているのみであり、かつ、主体的に研修コースの講義を実施し得るレベルには至っておらず、センター側は短期専門家派遣にあわせセミナーを実施するほか、一部外部講師による講義をもって研修コースを実施している状況にある。これには以下の原因が挙げられる。

① 貿易研修同様、C/Pは本来政府職員であり、デザイン等の素養がないため、ディスプレイ手法等、具体的な展示技術についての理解が極めて困難な状態にある。したがって、

これら個々の展示技術については一部を外部講師に頼り、C/Pはコース全体の運営のほか、見本市等のプランニング、マネージメント等に関する講義を行っている。

- ② 協力の当初より日本側は、国内リクルートの問題から長期専門家の派遣は困難である旨、説明してきており、テーマを定め、短期専門家を逐次派遣することにより対応してきている。やむを得ない理由によるものではあるが、このため系統的な指導が困難であったことは否めない。



## 5. プロジェクトの波及効果

### 5-1 効果の内容

#### 5-1-1 技術的效果

当該プロジェクトは、非石油製品の輸出を拡大するために必要な人材を育成することを目的としており、これらは一定の技術を有するインストラクターたるセンター職員の養成をもって評価される。すなわち製品検査技術の紹介を通じ、輸出製品の品質の向上に貢献し得る者、貿易実務に精通し的確なアドバイスを行い得る者、輸出振興を目的とした見本市や展示会の開催に必要な知識・技術を有する者、さらには日本市場への参入に向け、必要なアドバイスを行うことのできる者である。既に述べた通り、本件協力においては、いくつかの分野において不足は認められるものの、全体としてはセンター側が配置したC/Pは、日本側の技術移転を基に、インストラクターとしてセンターの運営に十分携わっており、協力の技術的效果は大きいものと評価される。また、これらインストラクターによる研修コース・セミナーの実施を通じ、この効果は継続的に保たれるものと思われる。

#### 5-1-2 経済的效果

直接的な効果としては、研修コースの実施によるセンター収入の増加が挙げられる。センター側の説明によれば、各研修コースの開設に伴い自己収入は漸次増加し、1991～92年で2億Rp.に達し、1993～94年には3.5億Rp.を見込んでいるとのことである。

一方、本件協力がもたらすインドネシア経済へのインパクトについては、研修センターという協力の性格上、明確な把握は難しいが、協力開始以来、同国の輸出総額に占める非石油・非天然ガス製品の割合が着実に伸びていることから、相対的に何らかの貢献をなしつつあるものと評価できよう。

### 5-2 効果の広がりと受益者の範囲

#### 5-2-1 組織内

本件協力を通じ、センター内部において、日本人専門家から技術移転を受けたC/Pを中心にインストラクターグループが組織化され、センター所長・管理部門との連携のもと、研修コースの開発、運営を系統的に行う体制が形成された。また、民間関係者へのサービスにとどまらず、商業省輸出振興局 (NAFED)、品質管理センター (TQC) 等、関連政府機関の人員育成を計画的に行うなど、政府組織内での協力効果の広がりも出てきている。

### 5-2-2 産 業 界

4-2-2で述べた通り、研修コースの開設以来、3,460名の参加者を得てきているが、このうち、約61%、2,000名近くが民間企業からの受講者である。このことは、まさにセンターに対する産業界のニーズの高さを示すものであろう。特に輸出検査分野においては、我が国への輸出拡大を目指す同国の産業界にとって、JIS規格等必要とされる製品品質のあり方を知る機会を得る点で、時宜を得たものと言える。また、いまだ不十分ながらも貿易研修分野においても参加者の具体的なニーズに応え得るよう、外部講師を含めたコースの改善に努めてきており、全体として産業界へのインパクトは今後とも高まっていくものと思われる。

### 5-2-3 国 内

同センターでは日本人専門家の協力を得て、ジョクジャカルタ、メダン、ウジュバンダン等地方都市での巡回指導、セミナーを計画・実施してきており、好評を博している。地方支所の開設の計画もあり、今後とも地方ニーズの把握に努めたいとしている。

## 6. 自立発展性の見通し

### 6-1 組織的な自立発展の見通し

同センターでは1994年に就任した新所長のもと、参加者のニーズを取り込みつつ、研修コースの向上・開発に積極的に取り組んでおり、今後、センターとして自立発展していくポテンシャルは高いものと思われる。

### 6-2 財務的な自立発展の見通し

同センターでは、各研修コースの拡充に伴い自己収入が漸次増加しつつあるが、確認したところでは、商業省よりの補助を含め、予算の大半は人件費が占めており、施設・設備の維持管理にかかる予算は十分ではない、とのことである。商業省の説明によれば、外国の援助で建設された施設については、当初5年間は維持管理予算が配置されないという、インドネシア国政府の規定によるものであり、今後は商業省として、この面でのフォローを行っていく予定であるとの由であった。一般的に政府機関職員の給与水準が民間に比して著しく低い同国の現状を考えると、今後とも人件費支出は増加していかざるを得ないものと思われることもあり、今後、施設・設備の維持管理については、商業省よりの財政措置が望まれる。

### 6-3 物的・技術的自立発展の見通し

#### 6-3-1 総論

上記の通り、これまでの日本側技術移転は、分野により過不足は認められるものの、概ね所期の目標を達成し、全般的にC/Pを中心としたインストラクターグループは、移転された技術を基に、継続的に研修コースの運営・改良を行っていく能力を有しているものと思われる。その一方で輸出検査を含む貿易業務は、インドネシア国の経済発展に伴い、絶えず変化していることは言うまでもなく、こうしたソフト移転型のセンターにあっては、常に自らの技術力・知識を向上させ、内外のニーズに即応し得る柔軟性を持ち続けて、事業の拡充を図っていくことが必要となろう。

こうした点を考えた場合、本センターは今後、相当期間にわたり、現有の施設・設備を活用しつつ一定の研修コースの改善を行っていくことは十分可能であるが、将来的にはセンターへのニーズの多角化に伴い、センター機能自体の拡充が必要となることも考えられる。

#### 6-3-2 貿易研修

C/Pへの技術移転には、なお不十分さが指摘され、より一層の知識・技術の涵養が望ま

れるが、今後とも、この分野におけるニーズが高まっていくであろうことから、貿易実務に通じた人材の確保ならびに適切なアドバイス・情報を得ることを通じ、産業界の動向に応じたコースの開発を行っていくことは十分可能であると思われる。

ただし、そのためにはセンター自身が、インストラクターとして適確な資質を備えた人材の拡充を図ること、また、いわばトップダウン的な体制の軛(くびき)にとらわれることなく、産業界のニーズを十分汲み取っていけるような、開かれた存在となっていくことが肝要であろう。

### 6-3-3 商業日本語

既に述べた通り、C/P自身の語学力が、いまだ低いことなどから、所期の機能を十分発揮しているとは言えない状況にあるが、現在のC/Pの意欲が高いこと、また、外国投資や貿易が、まさに活況を呈していることもあり、同国とりわけジャカルタにおける外国語習得ブームが衰えをみせていないことなどから、今後、適切なフォローを得ていくことにより、同分野がさらに発展していく余地は高いものと思われる。特に貿易研修の基地としてのセンターの位置付けを考えた場合、特定の職種や階層の学習者に対する研修コースの開発など、将来的なポテンシャルは十分あるものと考えられる。

ただし、そのためには、現任のインストラクターの知識・技術の向上を図ることはもちろん、センターによる予算面を含む体制の整備が十分図られることが不可欠である。また、受講者のニーズに応じたコース設定やカリキュラムの改善がなされる必要もあろう。

### 6-3-4 輸出検査

既に見た通り、輸出検査分野においては、総じて技術移転は順調に推移し、現有の知識・技術ならびに設備をもって、コース運営、改善を独自に行っていくことは可能であるが、その一方で絶えず新製品・技術の動向に留意するとともに、日本を含む国際市場のニーズを的確に把握し、こうした点を逐次カリキュラムに折り込んでいくことにより、研修コースの改善を図っていくことが肝要であろう。

また、そのためには、センター自身がこうした内外の動向やニーズを把握し、各分野の拡充につなげていけるような体制づくりに一層取り組んでいくことが期待される。

### 6-3-5 展示研修

展示技術そのものは、既に述べた通り、もとよりデザインなど高い専門的素養、経験が必要とされる場所であり、本センターの現有の体制では、間断なく変化する動向や内外のニーズに即応した、特定産品にかかる展示の手法を、例えば民間の広告企画会社に先んじて

提供していくことには困難があるものと言わざるを得ない。

本センターの本来の機能に立ち返って考えた場合、本分野において必要とされるものは、こうした特定の技術よりは、むしろ同国の実情や国際的な動向に見合った、見本市や展示会などの企画・運営に必要なノウハウや情報の提供、プランナーやモデレーターに向けた研修やセミナーの充実が期待される場所であり、かかる方向性については将来的な発展性は見だし得るものと思われる。

ただし、そのためには、現有のインストラクターが、こうした方面についての知識を一層高めていくことが不可欠である。

## 7. フォローアップの必要性

以上の通り、今回の評価調査の結果、本プロジェクトは総じて所期の技術協力目標を達成し、概ね良好な評価を得たことから、全体としては協力期間の延長をもって、活動を継続する必要性は見だし得ない。

その一方、貿易研修、商業日本語および展示研修の各分野においては諸般の事情から、なお技術移転に不足が認められ、現状では自立的な継続発展に不安があることから、一定期間のフォローアップを通じ、技術移転を図ることが妥当であると思われる。

また、センター全体については、組織・体制面での拡充が図られ、全体的に自立発展に向けた力量は備わってきているが、内外の動向やニーズを反映したセンター運営や体制づくりの面において、なお日本側が経験・アドバイスを与えていく余地があるものと思われる。

こうした点に鑑み、下記の通り、我が方の専門家派遣を通じ1年半程度を目途として、フォローアップ協力を行っていくことが望まれる。

貿易研修分野については長期専門家の派遣を必要とする。専門家については、貿易実務ならびに内外の産業・貿易の動向に習熟していることが不可欠であり、また、こうした研修センターの運営に対しても適切なアドバイスをなし得る人材であることが望まれる。

商業日本語分野についても長期専門家の派遣が不可欠である。専門家はセンターの現在の状況ならびに将来的なニーズを勘案した、中短期的な研修コースの開発、カリキュラム策定にかかる指導を行うことが期待される。C/P自身の語学力が、いまだ低いことがネックであるが、この点については、本来、我が方専門家の指導対象とされるべきではなく、センター自身により、その向上に向けた何らかの措置が図られることが必要である。最も現実的には、可能な範囲で専門家によるアドバイス、フォローも期待されるところであろう。

展示研修分野についても同様に長期専門家の派遣が望ましいが、従前の協力と同様、我が方の国内事情から、同分野については極めて困難となることが予想されるところ、貿易研修分野の長期専門家との連携をもって、上記6-3-5において指摘した分野において、適確な短期専門家を随時派遣することにより、指導助言を行っていく必要がある。

## 8. 評価結果総括

これまで見てきた通り、今回の評価調査を通じ、本件協力は全体的には概ね順調に推移し、所期の目標を達成したとの結論を得たが、その一方で、いくつかの分野については、なお課題を残すことが明らかとなった。

こうした分野における協力は、常に内外の貿易・産業を見据えつつ、これに即応した体制・人材づくりを行っていくという点で、難しい面を持っており、また、ソフト普及型協力特有の困難さ、すなわちC/Pの資質や定型化し難いソフトの移転といった問題を抱えているが、こうした背景を考えた場合、本件協力が若干の不備はありつつも、総じて一定の成果を収めることができたことは、ひとえに専門家やセンター関係者をはじめとする、日・伊双方の関係者の多大な努力によるものと言えるであろう。

もとよりアジアにおける経済センターを指向するインドネシアにとっては、貿易・産業構造の転換、拡充は喫緊の課題であり、その意味で、従前の協力を基礎とした、本研修センターの重要性は今後とも高まっていくことが予想される。

こうした点を踏まえ、本センターの拡充に向けては、インストラクターたるべき適正な人材の確保、予算・制度面の拡充など、先方の更なる努力が期待されることは言うまでもないが、我が方としても、今回の評価調査を通じて明らかとなった、いくつかの問題点に対しては、技術面における適切なフォローを行っていくことが望まれる。





## 添 付 資 料

1. ミニッツ
2. 合同評価レポート
3. 終了時ロジカルフレームワーク
4. 暫定実施計画 (TSI)
5. 技術協力計画 (TCP)
6. 調査団派遣実績
7. 専門家派遣実績
  - 7-1 長期専門家
  - 7-2 短期専門家
8. 研修員受入実績
9. 機材供与実績
10. 商業省組織図
11. 貿易研修センター組織図
12. 貿易研修センター人員一覧
13. トレーニングプログラム概要 (参考)



添付資料1. ミ ニ ッ ツ

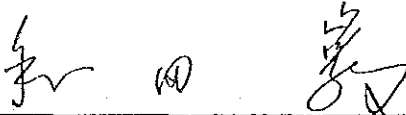
MINUTES OF MEETING  
BETWEEN THE JAPANESE EVALUATION TEAM AND  
THE AUTHORITIES CONCERNED OF  
THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA  
FOR THE JAPANESE PROJECT-TYPE TECHNICAL COOPERATION  
FOR THE INDONESIA EXPORT TRAINING CENTER

The Japanese Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Japanese Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (JICA) and headed by Mr. Iwao Wada, Specialist in Industrial Development, Institute for International Cooperation, JICA, visited the Republic of Indonesia from June 7 to 15, 1993, for the purpose of evaluating jointly with the Indonesian Evaluation Team the achievement of the Japanese Technical Cooperation for the Project on the Indonesia Export Training Center (hereinafter referred to as "the Project") on the basis of the Record of Discussions signed on September 2, 1988 (hereinafter referred to as "R/D").

After the Joint Evaluation of the Project, the Japanese Team discussed with the authorities concerned of the Republic of Indonesia over the matters for the successful implementation of the Project.

As a result of the discussions, both sides mutually agreed upon the matters referred to in the document attached hereto.

Jakarta, June 15, 1993



Mr. Iwao Wada  
Leader,  
Japanese Evaluation Team,  
Japan International Cooperation  
Agency (JICA),  
Japan



Dr. Rosediana Suharto  
Director,  
Indonesia Export Training  
Center (IETC),  
Ministry of Trade,  
The Republic of Indonesia



Mr. Bakir Hasan  
Secretary General,  
Ministry of Trade,  
The Republic of Indonesia

THE ATTACHED DOCUMENT

1. Recognition of the Joint Evaluation Report

The Joint Committee recognized the Joint Evaluation Report submitted by both Evaluation Teams.

2. Input to the Project during the cooperation from June 1 to September 1, 1993

(1) Japanese side

1) Dispatch of short-term experts

- ① Business Japanese Language (1 person);  
- For about three(3) months from the beginning of June, 1993.
- ② Inspection and Quality Control of Frozen/ Canned Food (1 person);  
- For about one(1) month from the beginning of June, 1993.
- ③ Exhibition Training (1 person);  
- For about three(3) weeks from the beginning of June, 1993.
- ④ Inspection and Quality Control, and Export Marketing of Rubber Products (1 person);  
- For about one(1) month from the middle of June, 1993.
- ⑤ Inspection and Quality Control of Textile & Garment (1 person);  
- For about one(1) month from the middle of June, 1993.
- ⑥ Exhibition Training (1 person);  
- For about two(2) weeks from the end of June, 1993.

2) Acceptance of counterpart personnel for the training in Japan

- ① Inspection and Quality Control of Frozen/ Canned Food (1 person)
- ② Inspection and Quality Control of Rubber & Rubber Products (1 person)
- ③ Trade Training (1 person)
- ④ Inspection and Quality Control of Wooden Furniture & Rattan Products (1 person)
- ⑤ Inspection and Quality Control of Textile & Garment (1 person)


3) Provision of the machinery and/or equipment within the budget

(2) Indonesian side

To take necessary measure in accordance with R/D.

3. Request from Indonesian Side

On the basis of the Joint Evaluation Report, the Indonesian side strongly requested the Japanese side to take subsequent actions to further facilitate technology transfer from Japan in the field of Trade Training, Business Japanese Language Training and Exhibition Training.

 R

## ANNEX I

### LIST OF ATTENDANTS AT THE JOINT COMMITTEE 1993

#### JAPANESE SIDE

##### 1. Japanese Evaluation Team

Mr. Iwao Wada	Leader
Mr. Tsunehide Miki	Technical Cooperation Planning
Mr. Risuke Kiuchi	Technical Cooperation Planning
Mr. Katsuhiko Kamiya	Evaluation Planning
Mr. Nobuaki Hirakawa	Cooperation Study

##### 2. Japanese Experts

Mr. Kazumasa Kobayashi	Chief Advisor
Mr. Hideyuki Adachi	Coordinator
Mr. Hitoshi Chikashige	Export Trade Training
Mr. Shigeyuki Oishi	Export Trade Training
Mr. Sakazo Takeuchi	Inspection and Quality Control Training on Wooden Furniture and Rattan Products
Mr. Tsuneo Hashimura	Inspection and Quality Control Training on Textile and Garment
Mr. Keisuke Yamamoto	Inspection and Quality Control Training on Rubber and Rubber Products
Mr. Ryo Kikuchi	Inspection and Quality Control Training on Frozen and Canned Food

##### 3. Japanese Embassy

Mr. Takashi Honjo	First Secretary
-------------------	-----------------

##### 4. JICA Indonesia Office

Mr. Noboru Taneda	Assistant Resident Representative
-------------------	-----------------------------------



N

INDONESIAN SIDE

1. Mr. Zaidi - National Development Planning Agency (BAPPENAS)
  
2. Ministry of Trade
  - Mr. Sudianto - Head, Bureau Organization
  - Mr. Eliver Radjaguguk - Bureau of Planning
  - Ms. Iriana Ryakudu - Bureau of Public Relations and Foreign Technical Cooperation
  - Ms. Herliza - National Agency for Export Development
  - Ms. Nunuk Handayani - Center for Testing and Quality Control
  
3. Indonesia Export Training Center (IETC)
  - Ms. Rosediana Suharto - Director of IETC
  - Mr. M. Djufri - Head, Administrative Division
  - Mr. Nurdin Noor - Head, Operational Division
  - Mr. Halomoan Sinaga - Operational Division
  - Ms. Utari Kurnianingsih - Counterpart for Trade Training
  - Mr. Jarmansyah Jusuf - Counterpart for Trade Training
  - Mr. Januar - Coordinator for Rubber and Rubber Products Training
  - Mr. Nainggolan - Counterpart for Rubber and Rubber Products Training
  - Ms. Husnainie H.H. - Coordinator for Frozen and Canned
  - Ms. Merry Maryati - Counterpart for Frozen and Canned
  - Mr. Huzairin - Counterpart for Textile and Garment
  - Mr. M. Kosasih - Counterpart for Wooden Furniture and Rattan Products Training
  - Ms. Julia G. Silalahi - Counterpart for Business Japanese Language
  - Ms. Istiati Hendraswani - Counterpart for Business Japanese Language
  - Ms. Sutyaningsih - Counterpart for Business Japanese Language
  - Mr. Saor M. Tambunan - Counterpart for Exhibition Training

ANNEX II

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION (June 1 - September 1, 1993)

CONTENTS	SCHEDULE			
	Jun.	Jul.	Aug.	Sep.
<b>JAPANESE SIDE</b>				
1. Dispatch of Experts				
1) Long-term				
• Chief Advisor				
• Coordinator				
• Trade Training				
• Inspection & Q.C. Training on Wooden Furniture, etc.				
• Inspection & Q.C. Training on Textile & Garment				
• Inspection & Q.C. Training on Rubber, etc.				
• Inspection & Q.C. Training on Frozen & Canned Food				
2) Short-term				
• Business Japanese Language				
• Inspection & Q.C. Training on Textile & Garment	_____			
• Inspection & Q.C. Training on Rubber, etc.	_____			
• Inspection & Q.C. Training on Frozen & Canned Food	_____			
• Exhibition Training	_____	_____		
2. C/P Training in Japan				
• Trade Training			_____	_____
• Business Japanese Language				_____
• Inspection & Q.C. Training on Wooden Furniture, etc.	_____			
• Inspection & Q.C. Training on Rubber, etc.			_____	
• Inspection & Q.C. Training on Frozen & Canned Food			_____	
3. Provision of Equipment				
<b>INDONESIAN SIDE</b>				
• Necessary measure for the implementation				

Handwritten marks: a checkmark and the number '21'.

添付資料 2. 合同評価レポート

JOINT EVALUATION REPORT  
ON THE  
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR THE  
INDONESIA EXPORT TRAINING CENTER

JUNE 12, 1993

JAKARTA

REPUBLIC OF INDONESIA



JOINT EVALUATION REPORT  
CONTENTS

	Page
I. Introduction	1
1. Objective of the Project	1
2. Background of the Project	2
II. Methodology of Evaluation	3
III. Results of Evaluation	4
1. Achievement of Targets	4
1-1. Conformity to Higher Goals	
1-2. Achievement of Project Objectives	
1-3. Output	
1-4. Input (Japan)	
1-5. Input (Indonesia)	
2. Impact of the Project	7
2-1. Contents of Impact	
2-2. Diffusion of Impact	
3. Prospects of Sustainability	7
3-1. Organizational Sustainability	
3-2. Financial Sustainability	
3-3. Technical and Physical Sustainability	
IV. Conclusions	8
V. Recommendations	9
1. Recommendations to JICA	9
2. Recommendations to IETC	9
Annex Contents	
Annex 1. Summary of Evaluation Results	
2. Logical Framework	
3. Workplan and Accomplishment	
4. List of Japanese Experts	
5. List of Counterparts Trained in Japan	
6. List of Equipment Provided by Japan	
7. List of Japanese Missions	
8. Organizational Structure of Ministry of Trade and IETC	
9. List of Counterparts at IETC	
10. Budget of IETC	
11. Accomplishment and Plan of Training Courses	

## I. INTRODUCTION

The Japanese Evaluation-Team organized by the Japan International Cooperation Agency (JICA), headed by Mr. Iwao Wada visited the Republic of Indonesia from June 7 to June 15, 1993, in order to evaluate jointly with the Indonesian Evaluation Team concerned the Indonesia Export Training Center (IETC) Project (hereinafter referred to as "the Project") which has been implemented for five years according to the concept of the Record of Discussions (R/D) signed on September 2, 1988.

As a result, both teams summarized the findings and observations as follows:

### 1. Objective of the Project

The objective of the Project is to establish the Indonesia Export Training Center(IETC) which aims at developing manpower in the fields of international trade, business Japanese language, inspection and quality control and exhibition of exportable products of Indonesia in order to contribute to the promotion of export of the Republic of Indonesia.

The objective of the Japanese Technical Cooperation is to support the following activities of IETC by means of providing advice and guidance to the counterpart personnel of IETC.

#### a. Trade Training

To provide Indonesian personnel in government and private sectors engaged in trade and the promotion of trade with experience as well as knowledge necessary in the fields of international trade business

#### b. Business Japanese Language Training

To train Indonesian personnel in government and private sectors who wish to make a business negotiation in Japanese and to promote export to Japan, to enable them to communicate verbally in Japanese at a level sufficient for their business/professional needs

c. Inspection and Quality Control Training

To train Indonesian personnel in government and private sectors in the use of latest testing methodology and testing equipment on export standards to be established by the relevant Indonesian authorities and to provide training in the method and system for the inspection and quality control for exportable products and to contribute, where required by the relevant Indonesian authorities, to any review of standards testing method and inspection

d. Exhibition Training

To train Indonesian personnel in government and private sectors on methods and techniques for their participation in exhibition as a promotional tool of potentially exportable products

2. Background of the Project

This Project was based on a request by the Government of the Republic of Indonesia at the June 1985 Annual Meeting on Japan-Indonesia Technical Cooperation to provide grant aid cooperation to establish IETC, and technical cooperation for the Project.

For the grant aid cooperation, a sum of ¥ 2.02 billion was invested for building, machinery and equipment.

a. Biography of the JICA Assistance Scheme:

- Official request for assistance: June 1985
- Dispatch of Contact Team: June 23-July 3, 1986
- Dispatch of Pre-Implementation Survey Team to clarify background of request, objectives, and work plan: January 25-February 1, 1987
- Dispatch of Experts Survey Team for detailed discussion on the request: June 1-16, 1987
- Dispatch of Implementation Survey Team to discuss and finalize the implementation program, including the signing of the R/D: August 28-September 5, 1988

b. Duration of Cooperation: Between September 2, 1988 and September 1, 1993

c. Date of Official Opening of IETC: February 1, 1990

## II . METHODOLOGY OF EVALUATION

### 1. Evaluators

Indonesian Team: Director of Indonesia Export Training Center (IETC)  
Head of Administrative Division of IETC.  
Head of Operational Division of IETC

Japanese Team : JICA Evaluation Team

### 2. Criteria

The evaluation was made for the following two criteria:

- Degree of transfer of the subjects stipulated in the R/D.
- To what extent the IETC counterparts absorbed and digested the technologies transferred by the Japanese experts.

### 3. Quantitative and Qualitative Evaluation

The Japanese long/short-term experts were assigned in 7 fields.

These are;

- Trade Training
- Business Japanese Language Training
- Inspection and Quality Control Training
  - Wooden Furniture and Rattan Products
  - Textile and Garment
  - Rubber and Rubber Products
  - Frozen and Canned Foods
- Exhibition Training

### 4. Evaluation

Evaluation was carried out through quantitative and qualitative assessment according to the following criteria:

- Excellent: A  
Transfer of technology in the R/D is fulfilled. Self-reliance by IETC is possible.
- Good : B  
Transfer of technology in the R/D is fulfilled. It is necessary for IETC to make continuous efforts for further development and improvement.
- Fair : C  
Transfer of technology in the R/D is almost complete. Difficulty exists in the application and development of the technology transferred.
- Poor : D  
Transfer of technology in the R/D is not complete.

### III. RESULTS OF EVALUATION

#### 1. Achievement of Targets

##### 1-1. Conformity to Higher Goals

The objectives of the Project are very much in line with the national plan of promoting the export of non-oil products.

##### 1-2. Achievement of Project Objectives

Transfer of technology and development of human resources in the field of the export of non-oil products have been generally successful through the dispatch of experts and counterpart training in Japan except a few areas which have experienced difficulties due to various reasons.

##### 1-3. Output

###### a) Trade Training

Technology transfer in this area has been less than satisfactory partly because of a difficulty in recruiting the counterparts with sufficient practical experiences. The Japanese side has provided mainly the experts with general knowledge and experience for the benefit of the counterparts, however, the participants lately show more interest in specific knowledge and skills of trading.

###### b) Business Japanese Language Training

Technology transfer took longer than anticipated due to the fact that the counterparts had to start learning Japanese from the scratch, and there was no feasible workplan prepared by the experts.

###### c) Inspection and Quality Control Training

###### i) Wooden Furniture and Rattan Products

Technology transfer has been complete as originally planned and, therefore, the counterparts are able to run the training courses on the testing and inspection technology by themselves. It is hoped that the counterparts make further efforts for the improvement of knowledge on the manufacturing and finishing process and quality control.

###### ii) Textile and Garment

Technology transfer has been complete as planned, and the counterparts are able to conduct training courses by themselves. In the area of quality control, however, the counterparts have some weaknesses in the statistical method and sampling inspection. Nevertheless this does not affect the implementation of the courses very much due to limited needs from the manufacturers. Technology transfer on the sewing conditions of garments, which has started lately to meet the manufacturers' needs, has not been sufficient and further improvement is required.

iii) Rubber and Rubber Products

Technology transfer has almost been complete in spite of the revision of plans caused by the transfer of the counterparts. The counterparts are able to conduct the training courses on the testing and inspection technology using provided equipment. They still have some difficulties in the lecturing of basic knowledge of raw rubber and rubber products, and their further efforts are required.

iv) Frozen and Canned Foods

Technology transfer has been complete as planned through the dispatch of experts and counterpart training in Japan. The counterparts are able to conduct training courses by themselves. There is some need of improvement in the area of quality control, however, IETC'S activities in this field are limited because of the involvement of various ministries in controlling the export of food and food products.

d) Exhibition Training

Transfer of technology in this area has been less successful than expected, and the counterparts are able to conduct training on the limited subjects in the course. It has to be noted that the effective transfer of technology in this area requires counterparts with artistic abilities, which is rare among the government officials. JICA also has had difficulties in recruiting a long-term expert who has right qualifications and consequently the right direction of technology transfer could not be established.

1-4. Input (Japan)

a) Dispatch of Experts

As of the end of May 1993, a total of 38 experts were dispatched to IETC as shown in Annex 4. Of these 38 experts, 16 persons were long-term experts whose service period was more than one year, and 22 were short-term experts whose service period was less than one year.

In spite of a strong request from the Indonesian side, the Japanese side has not been able to find a long-term expert in the field of Exhibition Training, although 3 short-term experts have been dispatched during the implementation period of the Project.

b) Counterparts Training in Japan

As of the end of May 1993, training in Japan for 31 Indonesian counterparts (including 2 persons in FY 1987 and group training) has been carried out as shown in Annex 5. Counterparts training could have been more effective if a right institution had been selected and a longer training period had been planned.

c) Provision of Equipment

As of the end of the Japanese Fiscal Year 1992, machinery and equipment have been provided to IETC as shown in Annex 6 for the effective implementation of the Project.

1-5. Input (Indonesia)

a) Allocation of counterparts at IETC

As of the end of May 1993, the total number of staff at IETC are 106, and the appointment of counterpart personnel of the Project is as shown in Annex 9.

IETC has experienced throughout the Project difficulties in recruiting the sufficient number of counterparts with right qualifications, which certainly has some negative impacts on the achievement level of the Project.

The organizational structure of Ministry of Trade and IETC is as shown in Annex 8.

b) Allocation of Budget

The Indonesian side has made good efforts of allocating sufficient budget for the effective implementation of the Project. Nevertheless, IETC had some difficulties in maintaining the building and equipment due to an insufficient budget.

Details are as shown in Annex 10.

c) Land, Building & Facilities

The Indonesian side has fulfilled the requirements stipulated in R/D to prepare a land, building, and facilities for the Project.

## 2. Impact of the Project

### 2-1. Contents of Impact

#### a) Technical Impact

The Project has been able to train manpower who has acquired knowledge and skills necessary for the promotion of non-oil exports.

#### b) Economic Impact

The Project has financially contributed to IETC through the revenue of training courses, however, it is hard to tell how far the Project has contributed to the increased exports of non-oil products since there are so many factors involved.

### 2-2. Diffusion of Impact

#### a) Within IETC

Not only the counterparts but also other staff of IETC have acquired knowledge and skills required for the exports of non-oil products.

#### b) Exporters and Manufacturers

Between 1989-1992 more than 3,400 participants attended the training courses organized by IETC and acquired new skills and knowledge.

#### c) Indonesia

The Project has made a substantial contribution to Indonesia in terms of human resources development, however, that contribution is still not very significant in a large country like Indonesia.

## 3. Prospects of Sustainability

### 3-1. Organizational Sustainability

During the implementation period of the Project staff strength of IETC has gradually increased. In addition, new management is very eager to improve IETC towards the establishment of a center of excellence.

### 3-2. Financial Sustainability

In view of the importance attached to the Project the Indonesian Government is determined to financially support IETC.

### 3-3. Technical and Physical Sustainability

For the areas of export inspection and quality control the counterparts are able to conduct the existing training courses without much assistance from the Japanese experts. However, in the fields of Trade Training, Business Japanese Language Training and Exhibition Training, the counterparts still have difficulties in lecturing in the courses.



#### IV. CONCLUSION

In the fields of Inspection and Quality Control Training on Wooden Furniture and Rattan Products, Textile and Garment, Rubber and Rubber Products and Frozen and Canned Foods, technology transfer has been successful and complete. As a result, the counterparts of IETC are able to conduct training courses with limited assistance from the Japanese experts.

In the fields of Trade Training, Business Japanese Language Training and Exhibition Training, however, transfer of technology has not been complete as originally planned due to various reasons. The Indonesian counterparts still have difficulties in conducting training courses by themselves.

## V. RECOMMENDATIONS

### 1. Recommendations to JICA

As earlier described, technology transfer has not yet been completed as originally planned in the following areas;

- a) Trade Training
- b) Business Japanese Language Training
- c) Exhibition Training

In order to facilitate and improve technology transfer in the above areas, JICA is recommended to take appropriate measures.

### 2. Recommendations to IETC

In order to maintain and improve the level of technology transfer achieved during the implementation period of the Project, IETC is recommended to;

- a) Make further efforts to recruit counterparts with right qualifications, and
- b) Make continuous efforts to secure the allocation of sufficient budget for the effective running of IETC.

IETC is also recommended to take necessary actions to upgrade the training courses to meet the ever increasing needs from the trade and industries.

130  
WSD

Annex 1. Summary of Evaluation Results

SUMMARY OF EVALUATION RESULTS

Level I		Level II		Level III		Level IV			
Evaluation Item	Res.	Evaluation Item	Res.	Evaluation Item	Res.	Evaluation Item	Res.		
1. Achievement of Targets	B	1. Conformity to Higher Goals	A						
		2. Achievement of Project Objectives	B						
		3. Output	B	3. Inspection and Quality Control Training	A	1. Trade Training	C		
						2. Business Japanese Language Training	C		
						1. Wooden Furniture & Rattan Products	A		
						2. Textile and Garment	B		
						3. Rubber and Rubber Products	B		
		4. Frozen and Canned Foods	A						
		4. Input (Japan)	A			4. Exhibition Training	C		
						1. Experts	B		
						2. G/P Training in Japan	B		
		5. Input (Indonesia)	B			3. Provision of Equipment	A		
						1. Counterparts	C		
						2. Budget	B		
						3. Land & Building	A		
2. Impact of Project	B	1. Contents of Impact	B	1. Technical Impact	B				
				2. Economic Impact	B				
		2. Diffusion of Impact	B			1. IETC	B		
						2. Exporters and Manufacturers	B		
						3. Indonesia	C		
3. Prospects of Sustainability	B	1. Organizational	B						
		2. Financial	B						
		3. Technical	B						
OVERALL EVALUATION ; B									

Summary of the Project	The Indicators for the Evaluation Survey	Evaluation Result	Outside Situation																												
<p><u>Overall Goal</u></p> <p>Export promotion of non-oil/gas products of Indonesia</p>	<p><u>Criteria of Target Achievement</u></p> <p>The ratio of non-oil/gas products export to all export items</p>	<p>External Trade (\$ million)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Oil/gas</th> <th>Non-oil/gas</th> <th>(of all items)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1986</td> <td>8,277</td> <td>6,528</td> <td>44.1 %</td> </tr> <tr> <td>1987</td> <td>8,356</td> <td>8,580</td> <td>50.1 %</td> </tr> <tr> <td>1988</td> <td>7,681</td> <td>11,537</td> <td>60.0 %</td> </tr> <tr> <td>1989</td> <td>8,600</td> <td>13,480</td> <td>60.8 %</td> </tr> <tr> <td>1990</td> <td>11,071</td> <td>14,604</td> <td>58.9 %</td> </tr> <tr> <td>1991</td> <td>10,895</td> <td>18,247</td> <td>62.6 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Central Bureau of Statistics, Indicator Export, (quoted from Country Profile 1992-93, E.I.U.)</p>		Oil/gas	Non-oil/gas	(of all items)	1986	8,277	6,528	44.1 %	1987	8,356	8,580	50.1 %	1988	7,681	11,537	60.0 %	1989	8,600	13,480	60.8 %	1990	11,071	14,604	58.9 %	1991	10,895	18,247	62.6 %	<p>- Adjustment to the Indonesian Economic Policy</p> <p>- Stabilization of oil price and oil export</p> <p>- Stabilization of non-oil/gas products</p>
	Oil/gas	Non-oil/gas	(of all items)																												
1986	8,277	6,528	44.1 %																												
1987	8,356	8,580	50.1 %																												
1988	7,681	11,537	60.0 %																												
1989	8,600	13,480	60.8 %																												
1990	11,071	14,604	58.9 %																												
1991	10,895	18,247	62.6 %																												
<p><u>Project Purpose (Direct Impact)</u></p> <p>Developing manpower in the fields of international trade, inspection and quality control and exhibition of exportable products</p>	<p>(1) Participants' place of employment etc.</p> <p>(2) Evaluation by the participants of Training Courses and Seminars</p>	<p>(1) Private Companies 60.4%</p> <p>Nationalized Companies 11.5%</p> <p>Cooperative Associations 6.0%</p> <p>Governmental Relations 22.3%</p>	<p>holding the Training Courses and Seminars sustainably</p>																												
<p><u>Outputs from the Project</u></p> <p>(1) Developing manpower by the means of Training Courses by the Indonesian government with establishment of curriculums and substantial courses in each fields:</p> <p>1) Trade Training</p> <p>11) Business Japanese Language Training</p> <p>111) Inspection and Quality Control Training</p> <p>- Wooden Furniture and Rattan Products</p> <p>- Textile and Garment</p> <p>- Rubber and Rubber Products</p> <p>- Frozen and Canned Foods</p> <p>12) Exhibition Training</p> <p>2) Seminars</p> <p>(2) Guarantee of personnel and budget of IETC</p> <p>(3) Effectiveness of equipment provided by Japan</p>	<p>(1) - Actual result of Training Courses and (attach # number of participants)</p> <p>- Contents of each Training Courses</p> <p>- Curriculums</p> <p>- Conditions of preparation of instructional materials</p> <p>(2) Conditions of personnel and budget of IETC</p> <p>(3) Conditions of building and practical use of machinery and equipment</p> <p>- Comparison of Tentative Schedule of Implementation and Actual Result of It</p> <p>- Comparison of Tentative Cooperation Program and Actual Result of It</p> <p>- Evaluation of Actual Result of Guidance Target in each fields.</p>	<p>(1) Please refer Annex II.</p> <p>(2) Please refer Annex 9 and 10.</p> <p>(3) Results of the Joint Evaluation</p> <p>Results of the Joint Evaluation and please refer Annex 3.</p>	<p>- Understanding and assistance by the Government and private companies especially of trading</p> <p>- Making counterparts remain in IETC</p>																												
<p><u>Inputs to the Project (Availability)</u></p> <p>(1) Technology Transfer in each fields:</p> <p>1) Trade Training</p> <p>11) Business Japanese Language Training</p> <p>111) Inspection and Quality Control Training</p> <p>- Wooden Furniture and Rattan Products</p> <p>- Textile and Garment</p> <p>- Rubber and Rubber Products</p> <p>- Frozen and Canned Foods</p> <p>12) Exhibition Training</p> <p>(2) Holding the Training Courses</p> <p>(3) Provision of Instructional Materials</p> <p>(4) Construction of the IETC</p> <p>- Grant Aid Cooperation</p>	<p><u>Inputs by the Japanese Side</u> (Total of the Inputs from Sep 2, 1988 to the end of May, 1993)</p> <p>(1) Dispatch of the Japanese Experts : 16 long-term experts &amp; 22 short-term experts</p> <p>(2) Counterparts Training in Japan : 31 persons (including 2 persons in FY1987 and Group Trainee)</p> <p>(3) Provision of the Machinery and Equipment : ¥ 55 million (until FY1992)</p> <p>(4) Grant Aid Cooperation (Building, Machinery, Equipment) : ¥ 2.02 billion</p> <p><u>Inputs by the Indonesian Side</u></p> <p>(1) Adjustment of the Organization</p> <p>- Authorization by the Presidential Decree</p> <p>- Readjustment of the Organization by the Ministry of Trade Decree No. 207/90/VI/90</p> <p>- The Plan to establish four regional centers in Medan, Palembang, Surabaya and Ujung Prahara</p> <p>(2) Allocation of the Indonesian counterparts personnel : 22 persons (at the end of May, 1993)</p> <p>(3) Allocation of the budget for IETC :</p> <p>FY 1990 315 million Rupiah</p> <p>FY 1991 695 million Rupiah</p> <p>FY 1992 900 million Rupiah</p> <p>FY 1993 1,150 million Rupiah</p> <p>1,530 million Rupiah</p>	<p>Positioning IETC into the organization of Ministry of Trade</p>																													

WORKPLAN AND ACCOMPLISHMENT

No.1

CALENDAR YEAR FISCAL YEAR	1988		1989		1990		1991		1992		1993	
	1988/89	1st Year	2nd Year	3rd Year	4th Year	1990/91	1991/92	1992/93	1993/94	Final Year	Year	Final Year
A. INDONESIAN SIDE 1. Construction of IETC 2. Staff Recruitment 3. Operation of IETC	<input type="checkbox"/> R/D <input checked="" type="checkbox"/> R/D											
B. JAPANESE SIDE 1. Dispatch of Survey Team 2. Dispatch of Japanese Experts (1) Long-Term Experts a) Team Leader b) Coordinator c) Trade Training d) Business Japanese Language Trainings e) Inspection and Quality Control Trainings i) Wooden Furniture and Rattan Products ii) Textile and Garment iii) Rubber and Rubber Products vi) Frozen and Canned Foods (2) Short-Term Experts a) Trade Training b) Inspection and Quality Control Training i) Industrial Products • Wooden Furniture and Rattan Products • Textile and Garment • Rubber and Rubber Products ii) Agricultural Products • Frozen and Canned Foods c) Exhibition Training d) Audio-Visual Equipment e) Installation of Equipment	<input type="checkbox"/> R/D <input checked="" type="checkbox"/> R/D	<input type="checkbox"/> Consultation <input checked="" type="checkbox"/> Consultation	<input type="checkbox"/> Consultation <input checked="" type="checkbox"/> Consultation	<input type="checkbox"/> -do- <input checked="" type="checkbox"/> -do-	<input type="checkbox"/> -do- <input checked="" type="checkbox"/> -do-	<input type="checkbox"/> Evaluation <input checked="" type="checkbox"/> Evaluation	<input type="checkbox"/> Consultation <input checked="" type="checkbox"/> Consultation	<input type="checkbox"/> Evaluation <input checked="" type="checkbox"/> Evaluation	<input type="checkbox"/> Consultation <input checked="" type="checkbox"/> Consultation	<input type="checkbox"/> Evaluation <input checked="" type="checkbox"/> Evaluation	<input type="checkbox"/> Consultation <input checked="" type="checkbox"/> Consultation	<input type="checkbox"/> Evaluation <input checked="" type="checkbox"/> Evaluation

CALENDAR YEAR FISCAL YEAR	1988		1989		1990		1991		1992		1993	
	1st	2nd	3rd	4th	Year	Year	Year	Year	Year	Year	Year	Final Year
3. Training of Indonesian Counterpart Personnel in Japan (1) Trade Training  (2) Business Japanese Language Training  (3) Inspection and Quality Control Training i) Industrial Products • Wooden Furniture and Rattan Products • Textile and Garment • Rubber and Rubber Products  ii) Agricultural Products • Frozen and Canned Foods  (4) Exhibition Training  (5) Management etc.,	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
4. Provision of Equipment and Machinery  Japanese Fiscal Year 1988 Japanese Fiscal Year 1989 Japanese Fiscal Year 1990 Japanese Fiscal Year 1991 Japanese Fiscal Year 1992 Japanese Fiscal Year 1993												

□ : Plan    ■ : Accomplishment

2/1

RD



Field	Name	Period	1988/89			1989/90			1990/91			1991/92			1992/93			1993/94			
			12	3	4	6	9	12	3	4	6	9	12	3	4	6	9	12	3	4	6
			1st Year			2nd Year			3rd Year			4th Year			Final Year						
II. Short-term Experts (1) Trade Training	HAYAO TAKENAKA	1990.03.14~1990.03.20																			
	Yoshi-chiro IWASHITA	1990.08.10~1990.08.27																			
	Kyoshiro MINOWA	1993.02.07~1993.02.28																			
(2) Inspection and Quality Control Training ① Wooden Furniture and Rattan Products	Yasuichi MOTEGI	1990.03.14~1990.03.20																			
	Mitsuo AINAWA	1991.03.27~1991.04.24																			
	Takao MAKATA	1992.02.10~1992.03.15																			
② Textile and Garment	Hiroshi OIATA	1993.01.17~1993.02.15																			
	Yasuichi MOTEGI (additional post)	1990.03.14~1990.03.20																			
	Yutaka SHIRAKU	1990.11.11~1990.11.25																			
③ Rubber and Rubber Products	Hiroshi KIJIMA	1992.02.09~1992.02.22																			
	Fumio YAMAGUCHI	1992.05.31~1992.06.14																			
	Hidetoshi KITA	1990.03.14~1990.03.20																			
④ Frozen and Canned Foods	Takaaki IMAMURA	1991.07.07~1991.07.28																			
	Motoyoshi SUGISAKI	1992.11.13~1992.12.15																			
	Yutaka YOSHIDA	1991.11.16~1991.12.21																			
(3) Exhibition Training	Masayoshi SHIGA	1992.10.10~1992.11.07																			
	Junji TAMOKI	1993.01.23~1993.02.26																			
	Hideo TAKAHASHI	1990.06.21~1990.07.19																			
(4) Audio-visual Equipment	Hideo TAKAHASHI	1991.06.30~1991.07.28																			
	Tomoo SUGIYAMA	1992.12.07~1992.12.31																			
	Sueichi SOGA	1993.01.10~1993.01.27																			
(5) Installation of Equipment	Hideto AMIE	1993.05.10~1993.05.21																			
	Hiroshi SHIGOKA	1990.10.10~1990.10.15																			
Total	22 persons																				





Field	Name	Period	1988/89			1989/90			1990/91			1991/92			1992/93			1993/94		
			1st	2nd	3rd	4th	5th	6th	7th	8th	9th	10th	11th	12th	13th	14th	15th	16th	17th	18th
(4) Exhibition Training	Mr. Seor H. Tambunan	1989.03.17~1989.04.04 1992.05.21~1992.07.04																		
	Ms. Murielili Tobing	1991.04.19~1991.04.28																		
	Ms. Nendy Naswir	1992.05.02~1992.06.30																		
(5) Management etc. (Audio-visual) (Japanese Language)	Mr. Uty Mudijono	1990.11.19~1990.11.28																		
	Mr. Muhammad Djufri	1990.11.18~1990.11.28																		
	Mr. Mardin Moor	1992.05.02~1992.05.20																		
	Mr. Arifol Rusdhi	1992.03.18~1992.05.16																		
	Ms. Viviarini	1992.10.22~1993.04.25																		
Total	31 persons																			

mark "G" means "Group Training"

*[Handwritten signature]*

Anex 6. List of Equipment provided by Japan (FY1968-1991)

FY	Number	NAME OF EQUIPMENT	QTY	PLACE
1988	1-071	Hydrogen peroxide 30%	4	FOOD
	1-072	Hydroxol	1	"
	1-073	Hydroxone	1	"
	1-074	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-075	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-076	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-077	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-078	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-079	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-080	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-081	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-082	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-083	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-084	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-085	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-086	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-087	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-088	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-089	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-090	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-091	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-092	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-093	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-094	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-095	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-096	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-097	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-098	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-099	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-100	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-101	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-102	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-103	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-104	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-105	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-106	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-107	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-108	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-109	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-110	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-111	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-112	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-113	Hydroxone lime small granule	1	"
	1-114	Hydroxone lime small granule	1	"

FY	Number	NAME OF EQUIPMENT	QTY	PLACE
1988	1-001	head of projector 2NOS-21F	2	TRAINING ROOM
	1-002-1	mount	1	"
	1-002-2	mount	1	"
	1-002-3	mount	1	"
	1-002-4	mount	1	"
	1-002-5	mount	1	"
	1-003	mount	1	"
	1-004	mount	1	"
	1-005	mount	1	"
	1-006	mount	1	"
	1-007	mount	1	"
	1-008	mount	1	"
	1-009	mount	1	"
	1-010	mount	1	"
	1-011	mount	1	"
	1-012	mount	1	"
	1-013	mount	1	"
	1-014	mount	1	"
	1-015	mount	1	"
	1-016	mount	1	"
	1-017	mount	1	"
	1-018	mount	1	"
	1-019	mount	1	"
	1-020	mount	1	"
	1-021	mount	1	"
	1-022	mount	1	"
	1-023	mount	1	"
	1-024	mount	1	"
	1-025	mount	1	"
	1-026	mount	1	"
	1-027	mount	1	"
	1-028	mount	1	"
	1-029	mount	1	"
	1-030	mount	1	"
	1-031	mount	1	"
	1-032	mount	1	"
	1-033	mount	1	"
	1-034	mount	1	"
	1-035	mount	1	"
	1-036	mount	1	"
	1-037	mount	1	"
	1-038	mount	1	"
	1-039	mount	1	"
	1-040	mount	1	"
	1-041	mount	1	"
	1-042	mount	1	"
	1-043	mount	1	"
	1-044	mount	1	"
	1-045	mount	1	"
	1-046	mount	1	"
	1-047	mount	1	"
	1-048	mount	1	"
	1-049	mount	1	"
	1-050	mount	1	"
	1-051	mount	1	"
	1-052	mount	1	"
	1-053	mount	1	"
	1-054	mount	1	"
	1-055	mount	1	"
	1-056	mount	1	"
	1-057	mount	1	"
	1-058	mount	1	"
	1-059	mount	1	"
	1-060	mount	1	"
	1-061	mount	1	"
	1-062	mount	1	"
	1-063	mount	1	"
	1-064	mount	1	"
	1-065	mount	1	"
	1-066	mount	1	"
	1-067	mount	1	"
	1-068	mount	1	"
	1-069	mount	1	"
	1-070	mount	1	"

Handwritten signature and initials.

FY	Number	NAME OF EQUIPMENT	QTY	PLACE
1989	2-071	phosphate TCP	1	RUBBER
	2-072	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-073	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-074	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-075	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-076	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-077	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-078	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-079	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-080	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-081	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-082	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-083	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-084	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-085	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-086	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-087	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-088	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-089	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-090	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-091	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-092	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-093	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-094	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-095	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-096	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-097	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-098	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-099	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-100	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-101	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-102	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-103	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-104	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-105	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-106	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-107	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-108	phosphate TCP (apart)	1	"
	2-109	phosphate TCP (apart)	1	"

FY	Number	NAME OF EQUIPMENT	QTY	PLACE
1989	2-001	less Jig	1	FURNITURE
	2-002	less Jig	1	"
	2-003	less Jig	1	"
	2-004	less Jig	1	"
	2-005	less Jig	1	"
	2-006	less Jig	1	"
	2-007	less Jig	1	"
	2-008	less Jig	1	"
	2-009	less Jig	1	"
	2-010	less Jig	1	"
	2-011	less Jig	1	"
	2-012	less Jig	1	"
	2-013	less Jig	1	"
	2-014	less Jig	1	"
	2-015	less Jig	1	"
	2-016	less Jig	1	"
	2-017	less Jig	1	"
	2-018	less Jig	1	"
	2-019	less Jig	1	"
	2-020	less Jig	1	"
	2-021	less Jig	1	"
	2-022	less Jig	1	"
	2-023	less Jig	1	"
	2-024	less Jig	1	"
	2-025	less Jig	1	"
	2-026	less Jig	1	"
	2-027	less Jig	1	"
	2-028	less Jig	1	"
	2-029	less Jig	1	"
	2-030	less Jig	1	"
	2-031	less Jig	1	"
	2-032	less Jig	1	"
	2-033	less Jig	1	"
	2-034	less Jig	1	"
	2-035	less Jig	1	"
	2-036	less Jig	1	"
	2-037	less Jig	1	"
	2-038	less Jig	1	"
	2-039	less Jig	1	"
	2-040	less Jig	1	"
	2-041	less Jig	1	"
	2-042	less Jig	1	"
	2-043	less Jig	1	"
	2-044	less Jig	1	"
	2-045	less Jig	1	"
	2-046	less Jig	1	"
	2-047	less Jig	1	"
	2-048	less Jig	1	"
	2-049	less Jig	1	"
	2-050	less Jig	1	"
	2-051	less Jig	1	"
	2-052	less Jig	1	"
	2-053	less Jig	1	"
	2-054	less Jig	1	"
	2-055	less Jig	1	"
	2-056	less Jig	1	"
	2-057	less Jig	1	"
	2-058	less Jig	1	"
	2-059	less Jig	1	"
	2-060	less Jig	1	"

FY	Number	NAME OF EQUIPMENT	QTY	PLACE
1990	3-001	5ml	1	RUBBER
3-002	3-002	1000ml	1	"
3-003	3-003	1000ml	1	"
3-004	3-004	1000ml	1	"
3-005	3-005	1000ml	1	"
3-006	3-006	1000ml	1	"
3-007	3-007	1000ml	1	"
3-008	3-008	1000ml	1	"
3-009	3-009	1000ml	1	"
3-010	3-010	1000ml	1	"
3-011	3-011	1000ml	1	"
3-012	3-012	1000ml	1	"
3-013	3-013	1000ml	1	"
3-014	3-014	1000ml	1	"
3-015	3-015	1000ml	1	"
3-016	3-016	1000ml	1	"
3-017	3-017	1000ml	1	"
3-018	3-018	1000ml	1	"
3-019	3-019	1000ml	1	"
3-020	3-020	1000ml	1	"
3-021	3-021	1000ml	1	"
3-022	3-022	1000ml	1	"
3-023	3-023	1000ml	1	"
3-024	3-024	1000ml	1	"
3-025	3-025	1000ml	1	"
3-026	3-026	1000ml	1	"
3-027	3-027	1000ml	1	"
3-028	3-028	1000ml	1	"
3-029	3-029	1000ml	1	"
3-030	3-030	1000ml	1	"
3-031	3-031	1000ml	1	"
3-032	3-032	1000ml	1	"
3-033	3-033	1000ml	1	"
3-034	3-034	1000ml	1	"
3-035	3-035	1000ml	1	"
3-036	3-036	1000ml	1	"
3-037	3-037	1000ml	1	"
3-038	3-038	1000ml	1	"
3-039	3-039	1000ml	1	"
3-040	3-040	1000ml	1	"
3-041	3-041	1000ml	1	"
3-042	3-042	1000ml	1	"
3-043	3-043	1000ml	1	"
3-044	3-044	1000ml	1	"
3-045	3-045	1000ml	1	"
3-046	3-046	1000ml	1	"
3-047	3-047	1000ml	1	"
3-048	3-048	1000ml	1	"
3-049	3-049	1000ml	1	"
3-050	3-050	1000ml	1	"
3-051	3-051	1000ml	1	"
3-052	3-052	1000ml	1	"
3-053	3-053	1000ml	1	"
3-054	3-054	1000ml	1	"
3-055	3-055	1000ml	1	"
3-056	3-056	1000ml	1	"
3-057	3-057	1000ml	1	"
3-058	3-058	1000ml	1	"
3-059	3-059	1000ml	1	"
3-060	3-060	1000ml	1	"
3-061	3-061	1000ml	1	"
3-062	3-062	1000ml	1	"
3-063	3-063	1000ml	1	"
3-064	3-064	1000ml	1	"
3-065	3-065	1000ml	1	"
3-066	3-066	1000ml	1	"
3-067	3-067	1000ml	1	"
3-068	3-068	1000ml	1	"
3-069	3-069	1000ml	1	"
3-070	3-070	1000ml	1	"

FY	Number	NAME OF EQUIPMENT	QTY	PLACE
1990	3-001	5ml	1	TEXTILE
3-002	3-002	1000ml	1	"
3-003	3-003	1000ml	1	"
3-004	3-004	1000ml	1	"
3-005	3-005	1000ml	1	"
3-006	3-006	1000ml	1	"
3-007	3-007	1000ml	1	"
3-008	3-008	1000ml	1	"
3-009	3-009	1000ml	1	"
3-010	3-010	1000ml	1	"
3-011	3-011	1000ml	1	"
3-012	3-012	1000ml	1	"
3-013	3-013	1000ml	1	"
3-014	3-014	1000ml	1	"
3-015	3-015	1000ml	1	"
3-016	3-016	1000ml	1	"
3-017	3-017	1000ml	1	"
3-018	3-018	1000ml	1	"
3-019	3-019	1000ml	1	"
3-020	3-020	1000ml	1	"
3-021	3-021	1000ml	1	"
3-022	3-022	1000ml	1	"
3-023	3-023	1000ml	1	"
3-024	3-024	1000ml	1	"
3-025	3-025	1000ml	1	"
3-026	3-026	1000ml	1	"
3-027	3-027	1000ml	1	"
3-028	3-028	1000ml	1	"
3-029	3-029	1000ml	1	"
3-030	3-030	1000ml	1	"
3-031	3-031	1000ml	1	"
3-032	3-032	1000ml	1	"
3-033	3-033	1000ml	1	"
3-034	3-034	1000ml	1	"
3-035	3-035	1000ml	1	"
3-036	3-036	1000ml	1	"
3-037	3-037	1000ml	1	"
3-038	3-038	1000ml	1	"
3-039	3-039	1000ml	1	"
3-040	3-040	1000ml	1	"
3-041	3-041	1000ml	1	"
3-042	3-042	1000ml	1	"
3-043	3-043	1000ml	1	"
3-044	3-044	1000ml	1	"
3-045	3-045	1000ml	1	"
3-046	3-046	1000ml	1	"
3-047	3-047	1000ml	1	"
3-048	3-048	1000ml	1	"
3-049	3-049	1000ml	1	"
3-050	3-050	1000ml	1	"
3-051	3-051	1000ml	1	"
3-052	3-052	1000ml	1	"
3-053	3-053	1000ml	1	"
3-054	3-054	1000ml	1	"
3-055	3-055	1000ml	1	"
3-056	3-056	1000ml	1	"
3-057	3-057	1000ml	1	"
3-058	3-058	1000ml	1	"
3-059	3-059	1000ml	1	"
3-060	3-060	1000ml	1	"
3-061	3-061	1000ml	1	"
3-062	3-062	1000ml	1	"
3-063	3-063	1000ml	1	"
3-064	3-064	1000ml	1	"
3-065	3-065	1000ml	1	"
3-066	3-066	1000ml	1	"
3-067	3-067	1000ml	1	"
3-068	3-068	1000ml	1	"
3-069	3-069	1000ml	1	"
3-070	3-070	1000ml	1	"

Handwritten signature and initials.



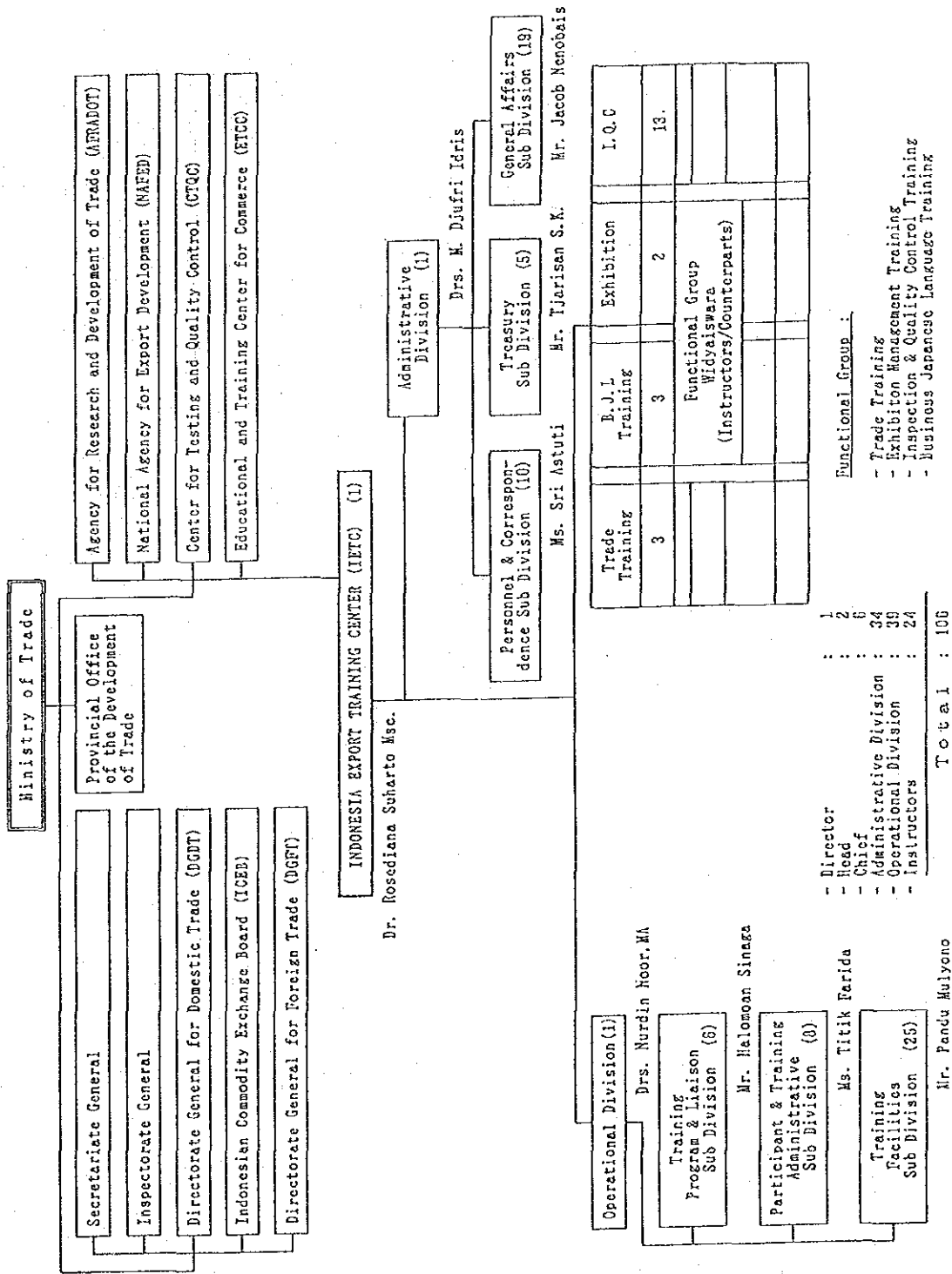
FY	Number	NAME OF EQUIPMENT	QTY	PLACE
1991	4-129	1) Counter thinkage	1	FOOD
	4-130	2) White paper on international trade Japan	1	"
	4-131	3) White paper on international economics Japan	1	"
	4-132	4) Japanese trade table 1980-1985	1	"
	4-133	5) Japanese trade table 1980-1985	1	"
	4-134	6) Customs tariff table	1	"
	4-135	7) Tokyo business today	1	"
	4-136	8) Japan company handbook I	1	"
	4-137	9) Japan company handbook II	1	"
	4-138	Video tape	1	BUSINESS JAPAN
	4-139	1) Japanese educational movie/fundamental Unit 1	1	"
	4-140	2) Japanese educational movie/fundamental Unit 2	1	"
	4-141	3) Japanese educational movie/fundamental Unit 3	1	"
	4-142	4) Japanese educational movie/fundamental Unit 4	1	"
	4-143	5) Japanese educational movie/fundamental Unit 5	1	"
	4-144	6) Contemporary business Japanese	1	"
	4-145	7) Video Japanese language 1 ~ 6	1	"
	4-146	8) Video Japanese language 1 ~ 6	1	"
	4-147	9) Video Japanese language 1 ~ 6	1	"
	4-148	1) International marketing 7th ED	1	TRADE TRAINING
	4-149	2) International marketing : strategy and management	1	"
	4-150	3) Principles and practice on export marketing	1	"
	4-151	4) International marketing 2nd ED	1	"
	4-152	5) Export strategy, market and competition	1	"
	4-153	6) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-154	7) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-155	8) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-156	9) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-157	10) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-158	11) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-159	12) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-160	13) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-161	14) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-162	15) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-163	16) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-164	17) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-165	18) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-166	19) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-167	20) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-168	21) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-169	22) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-170	23) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-171	24) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-172	25) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-173	26) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-174	27) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-175	28) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-176	29) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-177	30) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-178	31) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-179	32) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-180	33) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-181	34) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-182	35) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-183	36) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-184	37) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-185	38) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-186	39) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-187	40) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-188	41) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"
	4-189	42) International business and multinational enterprise 4th ED	1	"

## Annex 7. List of Japanese Missions

	NAME	DURATION AND FIELD
1	Contact Team	1986. 06. 23~1986. 07. 03
	Toshio KITAMURA Issei KOIDE Yuji TOKUMASU Hiroyuki KANAZAWA Katsuo OKI	Leader Technical Cooperation Planning Technical Cooperation Planning Technical Cooperation Planning Coordinator
2	Pre-Implementation Survey Team	1987. 01. 25~1987. 02. 01
	Toshio KITAMURA Yuji TOKUMASU  Junji YAMAMOTO  Tadayoshi FUJITA  Mitsuhiro SUGANO	Leader Technical Cooperation Planning (Trade Training and Exhibition Training) Technical Cooperation Planning (Inspection and Quality Control-Industrial Products) Technical Cooperation Planning (Inspection and Quality Control-Agricultural Products) Coordinator
3	Experts Survey Team	1987. 06. 01~1987. 06. 16
	Toshio OKAZAKI Takashi YAMAMOTO Sakazou TAKEUCHI  Tsunehide MIKI Takaaki IMAMURA Fujiro SEKIYA	Technical Cooperation Programme Trade Training and Exhibition Training Inspection and Quality Control on the Wood and Rattan Product Inspection and Quality Control on the Textile and Garment Inspection and Quality Control on the Rubber Product Inspection and Quality Control on the Food Product
4	Implementation Survey Team	1988. 08. 28~1988. 09. 05
	Yukitoshi NAGASAWA Shohei GOTAKI Takashi YAMAMOTO  Yasuichi MOTEGI  Yuzuru MIYAMOTO  Shigeho CHIBA	Leader Technical Cooperation Planning Technical Cooperation Planning (Trade Training and Exhibition Training) Technical Cooperation Planning (Inspection and Quality Control-Industrial Products) Technical Cooperation Planning (Inspection and Quality Control-Agricultural Products) Coordinator
5	Consultation Team	1989. 08. 21~1989. 08. 28
	Yukitoshi NAGASAWA Masashi KINOSHITA Shigeho CHIBA	Leader Training Planning Coordinator
6	Technical Guidance Team	1991. 10. 21~1991. 10. 30
	Kenji TOMITA Yasuhiko YOSHIDA Kazumi SAGISAKA Shigenobu IKEDO Teruhiko KAWABATA	Leader Technical Cooperation Planning Inspection and Quality Control Inspection and Quality Control Coordinator
7	Consultation Team	1992. 08. 04~1992. 08. 12
	Masayoshi JURO Kazumi SAGISAKA Yutaka YOSHIDA Teruhiko KAWABATA	Leader Technical Cooperation Planning Technical Cooperation Planning Project Management
8	Evaluation Team	1993. 06. 07~1993. 06. 16
	Iwao WADA Tsunehide MIKI Risuke KIUCHI Katsuhiko KAMIYA Nobuaki HIRAKAWA	Leader Technical Cooperation Planning Technical Cooperation Planning Evaluation Planning Cooperation Study



Annex 8. Organizational Structure of MINISTRY OF TRADE and IETC



Annex 9. List of Counterparts at IETC

(1) ACTUAL RESULT OF COUNTERPARTS APPOINTMENT

	First Year	2nd Year	3rd Year	4th Year	Final Year
	89/9	90/9	91/9	92/9	
A. Trade Training					
(1) Mr. Muchlis Syahmainan	X				
(2) Ms. Handaya Retno					
(3) Mr. Nurdin Noor			X		
(4) Ms. Retno Kusumo Astuti					
(5) Mr. Rochmad Andreas Anugerah	X				
(6) Mr. Utari Kurnianingsih	X				
(7) Mr. Mado Sulstarwo			X		
(8) Mr. Bambang Mulyatno					
(9) Mr. I. C. W. Pramono			X		
(10) Drs. Achmad Achbad			X		
(11) Mr. Wicayat			X		
(12) Mr. Jaramsyah Joesoef					
B. Business Japanese Language Training					
(1) Ms. Istiati Hendraswani					
(2) Ms. Julia G. Silalahi					
(3) Ms. Zekiah Hanim					
(4) Ms. Sutyainingsih					
C. Inspection and Quality Control Training					
1. Wooden Furniture and Rattan Products					
(1) Mr. Hadi Santoso				X	
(2) Mr. Hardjono					
(3) Mr. Yedi Kusmayadi					
(4) Mr. Mohamed Ali Kosasih					
2. Textile and Garment					
(1) Mr. Huzairin Patunranzi					
(2) Ms. Nus Nuzulia Ishak					
*(3) Ms. Tusti Isriani					
3. Rubber and Rubber Products					
(1) Mr. Januar					
(2) Ms. Harwati Hidayah					
(3) Mr. S. E. Meingsolsn					
(4) Mr. Ery Novrizal Yunas				X	
*(5) Ms. Marlana					
*(6) Mr. Mashudi					
(7) Mr. Maulani					
*(8) Ms. Siti Zuhelm					
4. Frozen and Canned Food					
(1) Ms. Husnainic Hassan Hanafi					
(2) Ms. Merry Maryati					
(3) Mr. Hewan Sudernawan					
(4) Mr. Irtiwardi					
D. Exhibition Training					
(1) Mr. Saor M. Tambunan					
(2) Ms. Nuricelli	X				
(3) Mr. Morti Kanto D.	X				
(4) Mr. Mohamed Taufiqverchann	X				
(5) Ms. Nendy Naswir					
* Proposed					

## (2) LIST OF COUNTERPART PERSONNEL

25 May 1993

Functional Group	Name	Position	Education	Assignment	Full-time or Part-time	Duty in charge	Request	Supply %	Shortage
A. Trade Training	(1) Ms. Handaya Retno	C/P, Trade Training	University	Jan. 1989	Full-time				
	(2) Ms. Utari Kurnianingsih	- ditto -	- ditto -	Jan. 1990	- ditto -		8	3	5
	(3) Ms. Jaramansyah Joesoef	- ditto -	- ditto -	Mar. 1992	- ditto -				
B. Business Japanese Language Training	(1) Ms. Jurlia G. Silalahi	C/P, Business Jpn Language Training	University	Apr. 1989	Full-time	Basic Course			
	(2) Ms. Istiati Hendrawani	- ditto -	- ditto -	May. 1989	- ditto -	- ditto -	3	3	0
	(3) Ms. Sutyaningsih	- ditto -	- ditto -	Sep. 1991	- ditto -	- ditto -			
C. Inspection and Quality Control Training 1. Wooden Furniture and Rattan Products	(1) Mr. Hurdjono	C/P, Wooden/Rattan Products Training	University	Oct. 1989	Full-time	Wooden/Rattan Products	4	2	2
	(2) Mr. Mohamed Ali Kosasih	- ditto -	- ditto -	Sep. 1992	- ditto -	- ditto -			
	(1) Ms. Muz Nuzulia Ishak	C/P, Textile/Garment Training	University	Oct. 1989	Full-time	Textile/Garment			
2. Textile and Garment	(2) Mr. Huzairin Patunranzi	- ditto -	- ditto -	Apr. 1989	- ditto -	Textile/Garment Packaging	4	2	2
	(3) Ms. Tusti Isriani	Proposed	- ditto -	Dec. 1991	- ditto -	Textile/Garment			
	(1) Mr. Januar	C/P, Rubber/Rubber Products Training	University	Mar. 1989	Full-time	Rubber/Rubber Products			
3. Rubber and Rubber Products	(2) Mr. S. E. Naingsolen	- ditto -	- ditto -	Sep. 1990	- ditto -				
	(3) Ms. Siti Zuhelm	Proposed	- ditto -	Sep. 1989	- ditto -		4	3	1
	(4) Mr. Maulani	C/P, Rubber/Rubber Products Training	- ditto -	Mar. 1993	- ditto -				
4. Frozen and Canned Foods	(5) Ms. Marlana	Proposed	- ditto -	Sep. 1991	- ditto -				
	(1) Ms. Husnainie Hasan Hanafi	C/P, Frozen/Canned Foods Training	University	Jan. 1989	Full-time	Frozen food			
	(2) Ms. Merry Maryati	- ditto -	- ditto -	Sep. 1990	- ditto -	Microbiology	4	4	0
	(3) Mr. Weman Sudarmawan	- ditto -	- ditto -	Sep. 1990	- ditto -	Chemistry			
D. Exhibition Training	(4) Mr. Itniwardi	- ditto -	- ditto -	Nov. 1992	- ditto -	Canned/General Food			
	(1) Ms. Nendy Naswir	C/P, Exhibition Training	University	Jan. 1991	Full-time	General	5	2	3
	(2) Mr. Saor M. Tambunan	- ditto -	- ditto -	Jan. 1989	- ditto -	Basic/Advanced Course			
					Total	32	19	13	

\*not including the number of "Proposed"

Annex 10. Budget of IETC

BUDGETARY TRANSITION  
ON INDONESIA EXPORT TRAINING CENTER

(Rp)

ITEM	FISCAL YEAR	1989/1990	1990/1991	1991/1992	1992/1993	1993/1994
Development Budget		315,000,000	675,000,000	700,000,000	900,000,000	950,000,000
Routine Budget		0	0	0	8,000,000	280,000,000
Self Finance		0	0	200,000,000	250,000,000	350,000,000
T O T A L		315,000,000	675,000,000	900,000,000	1,158,000,000	1,530,000,000

IETC TRAINING PROGRAMS

May 31, 1993

Field	ACCOMPLISHMENT												PLAN	
	1989/90		1990/91		1991/92		1992/93		Total		1993/94			
	Batch	Participants	Batch	Participants	Batch	Participants	Batch	Participants	Batch	Participants	Batch	Participants		
1. Trade Training	3	80	(13)	415	(19)	410	(20)	29	68	1,658	24	720		
2. Business Japanese Language Training	1	18	(3)	61	(3)	47	(5)	3	11	153	5	90		
3. Inspection and Quality Control Training (1) Wooden Furniture and Rattan Products	0	0	(3)	4	(7)	4	(5)	5	13	165	7	125		
(2) Textile and Garment	1	13	(6)	4	(6)	4	(5)	6	15	225	8	140		
(3) Rubber and Rubber Products	1	13	(7)	4	(6)	4	(5)	5	14	171	7	125		
(4) Frozen and Canned Foods	0	0	(6)	4	(5)	3	(5)	5	12	140	5	85		
4. Exhibition Training	2	34	(10)	10	(13)	10	(10)	10	32	554	11	295		
5. Seafarer	0	0	3	169	(10)	3	(4)	3	9	394	4	120		
<b>Total</b>	<b>8</b>	<b>158</b>	<b>50</b>	<b>1,009</b>	<b>50</b>	<b>878</b>	<b>66</b>	<b>1,415</b>	<b>174</b>	<b>3,460</b>	<b>71</b>	<b>1,700</b>		

( ) means original plan

(2) Participants from Jakarta 68 %  
Participants from out of Jakarta 32 %

(1) Composition of the participants (1990/91~1992/93)

Private Companies	1,994 persons (60.4%)
Nationalized Companies	372 persons (11.3%)
Cooperative Associations	201 persons (6.1%)
Governmental Relations	735 persons (22.2%)
<b>TOTAL</b>	<b>3,302 persons (100.0%)</b>











(2) 商業日本語 (No. 1)

TECHNICAL COOPERATION PROGRAM  
(BUSINESS JAPANESE LANGUAGE TRAINING)

DESCRIPTION	No. 1																								
	1988/89			1989/90			1990/91			1991/92			1992/93			1993/94									
	12	3	4	9	12	3	4	6	9	12	3	4	6	9	12	3	4	6	9	12	3	4	6	9	
1st Year	2nd Year	3rd Year	4th Year	5th Year	6th Year	7th Year	8th Year	9th Year	10th Year	11th Year	12th Year	13th Year	14th Year	15th Year	16th Year	17th Year	18th Year	19th Year	20th Year	21st Year	22nd Year	23rd Year	24th Year	25th Year	
A. Japanese Education																									
(1) Pronunciation																									
(2) Grammar																									
(3) Vocabulary																									
(4) Writing																									
(5) Reading																									
D. Technical Teaching Method																									
1. Basic Course																									
(1) Pronunciation																									
(2) Japanese Letters																									
(3) Vocabulary																									
(4) Grammar																									
(5) Conversation																									
(6) Speech																									
(7) Audio Visual Aids																									

□ : Plan    ■ : Accomplishment    ▨ : Tentative Schedule

(2) 商業日本語 (No. 2)

TECHNICAL COOPERATION PROGRAM (BUSINESS JAPANESE LANGUAGE TRAINING)												No. 2		
1988/89		1989/90			1990/91			1991/92			1992/93		1993/94	
12	3	4	6	9	12	3	4	6	9	12	3	4	6	9
1st Year		2nd Year			3rd Year			4th Year			Year		Final Year	
DESCRIPTION														
2. Intermediate Course														
(1) Kanji Letters														
(2) Vocabulary														
(3) Grammar														
(4) Composition														
(5) Reading														
(6) Audio Visual Aids														
3. Advanced Course														
(1) Kanji Letters														
(2) Vocabulary														
(3) Reading														
C. Production of Teaching Materials														
(1) Text Book														
(2) Drill Book														
(3) Test Paper														
(4) Home Work Paper														
(5) Listening Tape														
(6) Picture & Letters Card														
D. Word Processor														

☐ : Plan    ☒ : Accomplishment    ☐ : Tentative Schedule

(3) 輸出検査

① 木製品・藤製品 (Wooden Furniture and Rattan Products)

TECHNICAL COOPERATION PROGRAM																			
1988 / 89		1989 / 90			1990 / 91			1991 / 92			1992 / 93		1993 / 94						
12	3	4	6	9	12	3	4	6	9	12	3	4	6	9	12	3	4	6	9
1st Year		2nd Year			3rd Year			4th Year			Year		Final Year						
DESCRIPTION																			
1. Maintenance & Adjustment of Testing Equipment (供与機器の保守・整備)																			
2. Operation Training & Application of Testing Method (機器の適正使用方法の徹底指導)																			
3. Inspection & Testing for Furniture (家具類の性能試験・検査方法) (1) Testing Method of Furniture Materials (Wooden, Rattan) (家具材料 - 木材・ラタン材 - の特性試験方法と評価)																			
(2) Testing Strength of Joints for Furniture (家具接合部の強度試験方法)																			
(3) Strength Characteristic of Glue (接着剤の強度特性)																			
(4) Testing Method of Paints and Lacquers (塗料と塗装試験方法)																			
(5) Testing of Finished Furniture Products (家具製品の採用試験方法)																			
(6) Testing Method of Packaging Materials (包装材料 - 一割 - 試験方法)																			
4. Quality Control Technique and Process Control (品質管理並びに工程管理)																			
5. Technology Transfer for Counterparts & Operators (カウンタートパートの指導による技術移転)																			
6. Technical Guidance of Counterparts (カウンタートパートの指導)																			
7. Improvement of Teaching Materials & Adjustments (教材作成と資料の整理)																			

□ : Plan    ■ : Accomplishment    ▨ : Tentative Schedule

② 繊維・衣料品 (Textile and Garment)

TECHNICAL COOPERATION PROGRAM

DESCRIPTION	1988/89			1989/90			1990/91			1991/92			1992/93			1993/94			
	12	3	4	6	9	12	3	4	6	9	12	3	4	6	9	12	3	4	6
	1st Year			2nd Year			3rd Year			4th Year			Year			Final Year			
1. Laboratory Setting Up (ラボ設備)	[Plan]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			
2. Testing Methods (試験方法) (1) Fiber Identification & Fiber Mixture Ratio (繊維識別、混用率) (2) Color Fastness (染色堅ろう度試験) (3) Judgement on (2) (染色堅ろう度判定) (4) Test for Fabrics (生地性能試験) (5) Test for Packaging (包装試験) (6) Test for Safety (安全性試験)	[Plan]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			
3. Inspection Methods (検査方法) (1) Fabric Inspection (生地検査) (2) Garment Inspection (衣料品検査)	[Plan]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			
4. Quality Control Technique (品質管理技術) (1) Q. C. Technique and Standards for Yarn, Fabric, Garment (糸、生地、衣料品の基準と品質管理技術) (2) Statistical Method and Sampling Inspection (統計的手法と抜取り検査) 5. Course Preparation (研修コース実施準備)	[Plan]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			
6. Inter-Laboratory Test (ラボ内試験)	[Plan]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			[Accomplishment]			

□ : Plan    [ ] : Accomplishment    [ ] : Tentative Schedule

③ ゴム・ゴム製品 (Rubber and Rubber Products)

TECHNICAL COOPERATION PROGRAM

DESCRIPTION	1988/89			1989/90			1990/91			1991/92			1992/93			1993/94					
	12	3	4	6	9	12	3	4	6	9	12	3	4	6	9	12	3	4	6	9	
1st Year	Year		2nd Year		3rd Year		4th Year		Year		Final Year		Year		Year		Year				
1. Basic Knowledge of Raw Rubber and Rubber Products (ゴム・ゴム製品の基礎知識) (1) Natural Rubber and Natural Rubber Latex (天然ゴム及び天然ゴムラテックス) (2) Synthetic Rubber (合成ゴム) (3) Rubber Chemicals and Other Compounding Agent (ゴム製品及びその他の配合剤) (4) Processing of Raw Rubber and Latex (生ゴム及びラテックスの加工) (5) Chemistry of Rubber (ゴムの化学) (6) Physics of Rubber (ゴムの物理) (7) Basic Knowledge of Rubber Products and Related Standards (ゴム製品の基礎知識及び関連規格)																					
2. Testing Method (試験方法) (1) Physical Testing Method of Materials and Products (材料及び製品の物理的試験方法) (2) Chemical Testing Method of Materials and Products (材料及び製品の化学的試験方法)																					
3. Knowledge of Quality Control (品質管理の知識) (1) Quality Control (品質管理) (2) Promotion of Quality Control (品質管理の推進) (3) Basic Technology of Quality Control (品質管理の基礎技術) (4) Basic Technology of Quality Assurance (品質保証の基礎技術) (5) Inspection (検査) (6) Treatment of Rejected Lot (不合格ロットの処理) (7) Examples of Troubles of Frequent Occurrence (多発するトラブルの例及び配合設計)																					

: Plan     : Accomplishment     : Tentative Schedule

④ 冷凍・缶詰食品 (Frozen and Canned Foods)

TECHNICAL COOPERATION PROGRAM

DESCRIPTION	1988/89			1989/90			1990/91			1991/92			1992/93			1993/94					
	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	
	1st Year			2nd Year			3rd Year			4th Year			Year			Final Year					
<p>1. Fundamental Studies on Food (食品に関する基礎知識)</p> <p>(1) General Requisites for Food (食品に関する一般的要件)</p> <p>(2) Elements of Food Quality and Food Preservation (食品の品質要素と品質保持)</p> <p>(3) Food Sanitation and Hygiene (食品の衛生管理)</p> <p>(4) Frozen Food (冷凍食品)</p> <p>(5) Canned Food (缶詰食品)</p> <p>(6) Water for Use (Utility Water) (用水)</p> <p>(7) Regulation by the Law in Japan (食品衛生法と日本農林規格)</p> <p>(8) International Food Standard (国際食品規格)</p>																					
<p>2. Methods of Inspection and Testing (試験・検査方法)</p> <p>(1) Selection of the Method and the Technique (試験採取法と基礎的試験・検査手法の選択)</p> <p>(2) Testing Methods on Bacteria (細菌検査法)</p> <p>(3) Testing Methods on Chemical Components (化学的試験・検査法)</p> <p>(4) Testing Methods on Sensory Test (官能検査法)</p> <p>(5) Testing Methods on Specified Commodity (特定品目の検査法)</p>																					
<p>3. Basic Studies on Total Quality Control (品質管理について)</p> <p>(1) Conclusion from Production to Consumption (生産から消費に至る品質管理の完結)</p> <p>(2) Basic Techniques on TQC (品質管理の基礎技法)</p> <p>(3) Testing System and Feedback System (検査システムと結核のフィードバックシステム)</p>																					

□ : Plan    ■ : Accomplishment    ▨ : Tentative Schedule

添付資料6. 調査団派遣実績

調査名	派遣時期	担当	氏名	所属
コンタクト	1986.06.23~1986.07.03 (11日間)	団長・総括	北村 俊夫	国際協力事業団 鉦工業開発協力部長
		技術協力計画	小出 一晴	日本貿易振興会 輸入対策部 協力事業課長
		技術協力計画	徳増 有治	通商産業省 通商政策局 経済協力課 課長補佐
		技術協力計画	金沢 弘行	農林水産省 経済局 国際協力課 係長
		業務調整	大木 勝雄	国際協力事業団 鉦工業開発協力部 鉦工業開発技術課 課長代理
事前調査	1987.01.25~1987.02.01 (8日間)	団長・総括	北村 俊夫	国際協力事業団 鉦工業開発協力部長
		技術協力計画 (貿易研修・展示)	徳増 有治	通商産業省 通商政策局 経済協力課 課長補佐
		技術協力計画 (輸出検査-工-)	山本 順二	通商産業省 生活産業局 総務課 繊維企画官付
		技術協力計画 (輸出検査-農-)	藤田 忠義	農林水産省 東京農林規格検査所 規格検査部長
		業務調整	菅野 光洋	国際協力事業団 鉦工業開発協力部 鉦工業開発技術課
長期調査員	1987.06.01~1987.06.16 (16日間)	技術協力計画	岡崎 俊夫	国際協力事業団 鉦工業開発協力部 鉦工業開発技術課 課長代理
		貿易・展示研修	山本 隆史	日本貿易振興会 総務部付
		木・籐製品輸出検査 ・品質管理研修	竹内 阪蔵	国際協力事業団 鉦工業開発協力部 特別囑託
		繊維製品輸出検査 ・品質管理研修	三木 常秀	通商産業省 通商産業検査所 神戸支所 検査課 係長
		ゴム製品輸出検査 ・品質管理研修	今村 高昭	(株)ブリヂストン タイヤ品質保証部 品質保証第一課 課長
		冷凍食品輸出検査 ・品質管理研修	関矢 富士雄	農林水産省 東京農林規格検査所 規格検査部 農畜産課 係長



調査名	派遣時期	担当	氏名	所属
実施協議	1988.08.28~1988.09.05 (9日間)	団長・総括	長 沢 幸 敏	国際協力事業団 鉦工業開発協力部 鉦工業開発技術課 課長
		技術協力計画	大 滝 昌 平	通商産業省 通商政策局 経済協力課 課長補佐
		技術協力計画 (貿易研修・展示)	山 本 隆 史	日本貿易振興会 輸入対策部 主査
		技術協力計画 (工業品輸出検査)	茂 木 保 一	通商産業省 通商産業検査所 総務課 企画室長
		技術協力計画 (農産品輸出検査)	宮 本 謙	農林水産省 東京農林規格検査所 海外指導専門官
		業務調整	千 葉 滋 輔	国際協力事業団 鉦工業開発協力部 鉦工業開発技術課
計画打合せ	1989.08.21~1989.08.28 (8日間)	団長・総括	長 沢 幸 敏	国際協力事業団 鉦工業開発協力部 鉦工業開発技術課 課長
		研修計画	木 下 雅 司	国際協力事業団 研修事業部 研修第三課
		業務調整	千 葉 滋 輔	国際協力事業団 鉦工業開発協力部 鉦工業開発技術課
巡回指導	1991.10.21~1991.10.30 (10日間)	団長・総括	富 田 堅 二	国際協力事業団 専門技術嘱託
		技術協力計画 (全体計画)	吉 田 泰 彦	通商産業省 通商政策局 経済協力部 技術協力課 総括班長
		技術協力計画 (輸出検査)	鷺 坂 和 美	通商産業省 通商産業検査所 総務部 総務課国際室 国際協力係長
		技術協力計画 (輸出検査)	池 戸 重 信	農林水産省 東京農林水産消費技術センター 技術指導部長
		業務調整	川 畑 輝 彦	国際協力事業団 鉦工業開発協力部 鉦工業開発技術課

調査名	派遣時期	担当	氏名	所属
計画打合せ	1992.08.04~1992.08.12 (9日間)	団長・総括	十 郎 正 義	国際協力事業団 鉦工業開発協力部 鉦工業開発協力課 課長代理
		技術協力計画 (輸出検査)	鷺 坂 和 美	通商産業省 通商産業検査所 総務部 総務課国際室 国際協力係長
		技術協力計画 (輸出検査)	吉 田 豊	農林水産省 東京農林水産消費技術センター 技術指導部 国際業務課 国際業務第一係長
		プロジェクト運営 管理	川 畑 輝 彦	国際協力事業団 鉦工業開発協力部 鉦工業開発協力課
終了時評価	1993.06.07~1993.06.16 (10日間)	団長・総括	和 田 巖	国際協力事業団 国際協力総合研修所 国際協力専門員(工業開発)
		技術協力計画	三 木 常 秀	通商産業省 通商産業検査所 総務部 国際室長
		技術協力計画	木 内 利 助	農林水産省 東京農林水産消費技術センター 国際業務課 指導官
		プロジェクト計画 評価	神 谷 克 彦	国際協力事業団 鉦工業開発協力部 鉦工業開発協力課
		協力実績調査	平 川 伸 明	(財)日本国際協力センター 開発部 開発業務課

添付資料 7. 専門家派遣実績

7-1 長期専門家

分野	氏名	派遣期間	所属先	
チームリーダー	山本 隆史	1988.12.20~1991.12.19	日本貿易振興会	
	小林 和正	1992.01.10~1993.09.01	(株)日商岩井	
業務調整	平山 隆馬	1988.12.20~1991.12.19	無所属 (前・国際協力事業団)	
	安達 秀行	1991.12.07~1993.09.01	(社)青年海外協力協会	
貿易研修	栗原 徳弘	1989.03.29~1992.03.28	(株)伊藤忠商事	
	青木 桂城	1989.03.29~1991.03.28	(株)コスモ石油	
	近重 均	1991.11.02~1993.09.01	(株)ファーストオイルトレーディング	
	大石 重行	1992.03.22~1993.09.01	(株)伊藤忠商事	
商業日本語研修	本多 敏子	1989.04.15~1991.04.14	(財)国際協力サービスセンター	
	大矢 大輔	1991.04.07~1993.04.06	(財)日本国際協力システム	
輸出検査・品質管理研修 ①木製品・籐製品	佐野 吉雅	1989.08.01~1991.07.31	通産省製品科学研究所	
	竹内 阪蔵	1991.07.24~1993.09.01	無所属 (前・通産省)	
	②繊維・衣料品	福間 孝光	1989.04.01~1991.03.31	通産省通商産業検査所
		橋村 恒男	1991.08.02~1993.09.01	通産省通商産業検査所
	③ゴム・ゴム製品	山本 慧介	1989.03.29~1993.09.01	(株)ブリヂストン
	④冷凍・缶詰食品	菊地 嶺	1990.04.26~1993.09.01	無所属 (前・水産庁)
	展示研修	山本 隆史 (上記チームリーダー兼務)		

(1993年5月末現在)

## 7-2 短期専門家

分野	氏名	派遣期間	所属先
貿易研修	竹中 速雄	1990.03.14~1990.03.20	通産省通商政策局
	岩下 義一郎	1990.08.18~1990.08.27	(株) コスガ
	箕輪 京四郎	1993.02.07~1993.02.28	無所属
輸出検査・品質管理研修 ①木製品・籐製品	茂木 保一	1990.03.14~1990.03.20	通産省通商産業検査所
	相川 光夫	1991.03.27~1991.04.24	通産省製品科学研究所
	中田 隆夫	1992.02.16~1992.03.15	通産省製品科学研究所
	大畑 敬	1993.01.17~1993.02.15	島根県立工業技術センター
②繊維・衣料品	茂木 保一 (上記木製品・籐製品短期専門家兼務)		
	塩 飽 裕	1990.11.11~1990.11.25	通産省通商産業検査所
	木 嶋 寛	1992.02.09~1992.02.22	(財) 縫製品検査協会
	山口 文男	1992.05.31~1992.06.14	(財) 日本メリヤス検査協会
③ゴム・ゴム製品	城多 秀年	1990.03.14~1990.03.20	(株) ブリヂストン
	今村 高昭	1991.07.07~1991.07.28	(株) ブリヂストン
	杉崎 元侯	1992.11.18~1992.12.16	(株) ブリヂストン
④冷凍・缶詰食品	吉田 豊	1991.11.16~1991.12.21	農水省東京農林水産消費技術センター
	志賀 正良	1992.10.10~1992.11.07	シガ技術士事務所
	田森 純二	1993.01.23~1993.02.26	農水省東京農林水産消費技術センター
展示研修	高橋 英男	1990.06.21~1990.07.19 1991.06.30~1991.07.28	日本貿易振興会
	杉山 知生	1992.12.07~1992.12.31	(株) 乃村工藝社
	曾我 季市	1993.01.10~1993.01.27	(株) そごう
視聴覚機器	網家 秀人	1993.05.10~1993.05.21	(株) ソニー
機材据付	茂岡 弘	1990.10.10~1990.10.15	(株) 機材研究

(1993年5月末現在)

添付資料 8. 研修員受入実績

分野	氏名	派遣期間	備考	
貿易研修	Ms. Lily Rosyana	1987.12.01~1987.12.13	準高級	
	Mr. Muchlis Syahminan	1989.02.09~1989.03.30		
	Ms. Handaya Retno	1989.02.09~1989.03.30 1993.03.25~1993.07.17		
	Ms. Retno Kusumo Astuti	1989.10.10~1990.02.20		
	Mr. Raden Mochamad Andreas Anugerah	1989.10.10~1990.02.20		
	Mr. Bambang Mulyatno	1990.07.22~1990.09.14		
	Mr. Utari Kurnianingsih	1991.07.17~1991.08.28		
商業日本語研修	Ms. Istiati Hendraswani	1990.01.11~1990.06.30		
	Ms. Julia G. Silalahi	1990.08.21~1990.12.23		
	Ms. Sutyaningsih	1992.09.21~1993.03.28		
輸出検査・品質管理研修	Mr. Antoniussina Kumanireng	1987.12.01~1987.12.13	準高級	
	①木製品・籐製品	Mr. Hardjono	1991.10.29~1991.12.06	
		Mr. Supriyanto	1992.08.20~1992.12.10	集団研修含む
	②繊維・衣料品	Mr. Huzairin Patunrangi	1989.09.26~1989.12.17 1991.08.25~1991.10.31	集団研修
		Ms. Nus Nuzulia Ishak	1991.11.04~1991.12.13	
		Mr. Achmad Muchtar	1992.07.14~1992.09.13	
		Ms. Rosni Irawati	1993.01.11~1993.03.21	
	③ゴム・ゴム製品	Mr. Januar	1989.09.26~1989.12.17	
		Mr. Mashudi	1992.06.25~1992.10.20	
	④冷凍・缶詰食品	Ms. Husnainie Hassan Hanafi	1989.08.28~1989.11.15	
		Ms. Merry Maryati	1992.01.07~1992.07.25	
		Mr. Wawan Sudarmawan	1992.08.18~1993.01.31	
		Mr. Itmiwardi	1993.05.12~1993.08.14	
	展示研修	Mr. Saor M. Tambunan	1989.03.17~1989.04.04 1992.05.21~1992.07.04	集団研修
Ms. Nurlaili Tobing		1991.04.19~1991.04.28		
Ms. Nendy Naswir		1992.06.02~1992.06.30		
管理・運営	Mr. Uty Mudjijono	1990.11.18~1990.11.28		
	Mr. Muhammad Djufri	1990.11.18~1990.11.28		
	Mr. Nurdin Noor	1992.06.02~1992.06.20		
	Mr. Ariful Fuadhi	1992.03.18~1992.06.16	視聴覚機材作成	
	Ms. Viviarini	1992.10.22~1993.04.25	集団研修(日本語)	

(1993年5月末現在)

添付資料 9. 機材供与実績

FY	Number	NAME OF EQUIPMENT	QTY	PLACE
1988	1-001	Head projector 2NOS-21F	1	TRAINING ROOM
	1-002	Head of OHP	1	"
	1-003	Head of OHP	1	"
	1-004	Head of OHP	1	"
	1-005	Head of OHP	1	"
	1-006	Head of OHP	1	"
	1-007	Head of OHP	1	"
	1-008	Head of OHP	1	"
	1-009	Head of OHP	1	"
	1-010	Head of OHP	1	"
	1-011	Head of OHP	1	"
	1-012	Head of OHP	1	"
	1-013	Head of OHP	1	"
	1-014	Head of OHP	1	"
	1-015	Head of OHP	1	"
	1-016	Head of OHP	1	"
	1-017	Head of OHP	1	"
	1-018	Head of OHP	1	"
	1-019	Head of OHP	1	"
	1-020	Head of OHP	1	"
	1-021	Head of OHP	1	"
	1-022	Head of OHP	1	"
	1-023	Head of OHP	1	"
	1-024	Head of OHP	1	"
	1-025	Head of OHP	1	"
	1-026	Head of OHP	1	"
	1-027	Head of OHP	1	"
	1-028	Head of OHP	1	"
	1-029	Head of OHP	1	"
	1-030	Head of OHP	1	"
	1-031	Head of OHP	1	"
	1-032	Head of OHP	1	"
	1-033	Head of OHP	1	"
	1-034	Head of OHP	1	"
	1-035	Head of OHP	1	"
	1-036	Head of OHP	1	"
	1-037	Head of OHP	1	"
	1-038	Head of OHP	1	"
	1-039	Head of OHP	1	"
	1-040	Head of OHP	1	"
	1-041	Head of OHP	1	"
	1-042	Head of OHP	1	"
	1-043	Head of OHP	1	"
	1-044	Head of OHP	1	"
	1-045	Head of OHP	1	"
	1-046	Head of OHP	1	"
	1-047	Head of OHP	1	"
	1-048	Head of OHP	1	"
	1-049	Head of OHP	1	"
	1-050	Head of OHP	1	"
	1-051	Head of OHP	1	"
	1-052	Head of OHP	1	"
	1-053	Head of OHP	1	"
	1-054	Head of OHP	1	"
	1-055	Head of OHP	1	"
	1-056	Head of OHP	1	"
	1-057	Head of OHP	1	"
	1-058	Head of OHP	1	"
	1-059	Head of OHP	1	"
	1-060	Head of OHP	1	"
	1-061	Head of OHP	1	"
	1-062	Head of OHP	1	"
	1-063	Head of OHP	1	"
	1-064	Head of OHP	1	"
	1-065	Head of OHP	1	"
	1-066	Head of OHP	1	"
	1-067	Head of OHP	1	"
	1-068	Head of OHP	1	"
	1-069	Head of OHP	1	"
	1-070	Head of OHP	1	"

FY	Number	NAME OF EQUIPMENT	QTY	PLACE
1988	1-071	Hydrogen peroxide 30%	500ml	FOOD
	1-072	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-073	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-074	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-075	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-076	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-077	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-078	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-079	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-080	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-081	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-082	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-083	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-084	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-085	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-086	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-087	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-088	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-089	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-090	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-091	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-092	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-093	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-094	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-095	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-096	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-097	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-098	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-099	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-100	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-101	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-102	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-103	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-104	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-105	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-106	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-107	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-108	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-109	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-110	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-111	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-112	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-113	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"
	1-114	Hydrogen peroxide 30%	500ml	"

FY	Number	NAME OF EQUIPMENT	CITY	PLACE
1989	2-071	phosphate TCP	I	RUBBER
	2-072	phosphate TCP	I	"
	2-073	phosphate TCP	I	"
	2-074	phosphate TCP	I	"
	2-075	phosphate TCP	I	"
	2-076	phosphate TCP	I	"
	2-077	phosphate TCP	I	"
	2-078	phosphate TCP	I	"
	2-079	phosphate TCP	I	"
	2-080	phosphate TCP	I	"
	2-081	phosphate TCP	I	"
	2-082	phosphate TCP	I	"
	2-083	phosphate TCP	I	"
	2-084	phosphate TCP	I	"
	2-085	phosphate TCP	I	"
	2-086	phosphate TCP	I	"
	2-087	phosphate TCP	I	"
	2-088	phosphate TCP	I	"
	2-089	phosphate TCP	I	"
	2-090	phosphate TCP	I	"
	2-091	phosphate TCP	I	"
	2-092	phosphate TCP	I	"
	2-093	phosphate TCP	I	"
	2-094	phosphate TCP	I	"
	2-095	phosphate TCP	I	"
	2-096	phosphate TCP	I	"
	2-097	phosphate TCP	I	"
	2-098	phosphate TCP	I	"
	2-099	phosphate TCP	I	"
	2-100	phosphate TCP	I	"
	2-101	phosphate TCP	I	"
	2-102	phosphate TCP	I	"
	2-103	phosphate TCP	I	"
	2-104	phosphate TCP	I	"
	2-105	phosphate TCP	I	"
	2-106	phosphate TCP	I	"
	2-107	phosphate TCP	I	"
	2-108	phosphate TCP	I	"
	2-109	phosphate TCP	I	"
	2-110	phosphate TCP	I	"

FY	Number	NAME OF EQUIPMENT	CITY	PLACE
1989	2-001	best jig	I	FURNITURE
	2-002	best jig	I	"
	2-003	best jig	I	"
	2-004	best jig	I	"
	2-005	best jig	I	"
	2-006	best jig	I	"
	2-007	best jig	I	"
	2-008	best jig	I	"
	2-009	best jig	I	"
	2-010	best jig	I	"
	2-011	best jig	I	"
	2-012	best jig	I	"
	2-013	best jig	I	"
	2-014	best jig	I	"
	2-015	best jig	I	"
	2-016	best jig	I	"
	2-017	best jig	I	"
	2-018	best jig	I	"
	2-019	best jig	I	"
	2-020	best jig	I	"
	2-021	best jig	I	"
	2-022	best jig	I	"
	2-023	best jig	I	"
	2-024	best jig	I	"
	2-025	best jig	I	"
	2-026	best jig	I	"
	2-027	best jig	I	"
	2-028	best jig	I	"
	2-029	best jig	I	"
	2-030	best jig	I	"
	2-031	best jig	I	"
	2-032	best jig	I	"
	2-033	best jig	I	"
	2-034	best jig	I	"
	2-035	best jig	I	"
	2-036	best jig	I	"
	2-037	best jig	I	"
	2-038	best jig	I	"
	2-039	best jig	I	"
	2-040	best jig	I	"
	2-041	best jig	I	"
	2-042	best jig	I	"
	2-043	best jig	I	"
	2-044	best jig	I	"
	2-045	best jig	I	"
	2-046	best jig	I	"
	2-047	best jig	I	"
	2-048	best jig	I	"
	2-049	best jig	I	"
	2-050	best jig	I	"
	2-051	best jig	I	"
	2-052	best jig	I	"
	2-053	best jig	I	"
	2-054	best jig	I	"
	2-055	best jig	I	"
	2-056	best jig	I	"
	2-057	best jig	I	"
	2-058	best jig	I	"
	2-059	best jig	I	"
	2-060	best jig	I	"
	2-061	best jig	I	"
	2-062	best jig	I	"
	2-063	best jig	I	"
	2-064	best jig	I	"
	2-065	best jig	I	"
	2-066	best jig	I	"
	2-067	best jig	I	"
	2-068	best jig	I	"
	2-069	best jig	I	"
	2-070	best jig	I	"

FY	Number	NAME OF EQUIPMENT	QTY	PLACE
1990	3-001	Styrene	1	TEXTILE
	3-002	Microscope	1	"
	3-003	Microscope illumination	1	"
	3-004	Microscope objective	1	"
	3-005	Microscope eyepiece	1	"
	3-006	Microscope slide	1	"
	3-007	Microscope cover slip	1	"
	3-008	Microscope objective U-1100	2	"
	3-009	Microscope slide	2	"
	3-010	Microscope cover slip	2	"
	3-011	Microscope objective	2	"
	3-012	Microscope eyepiece	2	"
	3-013	Microscope slide	2	"
	3-014	Microscope cover slip	2	"
	3-015	Microscope objective	2	"
	3-016	Microscope eyepiece	2	"
	3-017	Microscope slide	2	"
	3-018	Microscope cover slip	2	"
	3-019	Microscope objective	2	"
	3-020	Microscope eyepiece	2	"
	3-021	Microscope slide	2	"
	3-022	Microscope cover slip	2	"
	3-023	Microscope objective	2	"
	3-024	Microscope eyepiece	2	"
	3-025	Microscope slide	2	"
	3-026	Microscope cover slip	2	"
	3-027	Microscope objective	2	"
	3-028	Microscope eyepiece	2	"
	3-029	Microscope slide	2	"
	3-030	Microscope cover slip	2	"
	3-031	Microscope objective	2	"
	3-032	Microscope eyepiece	2	"
	3-033	Microscope slide	2	"
	3-034	Microscope cover slip	2	"
	3-035	Microscope objective	2	"
	3-036	Microscope eyepiece	2	"
	3-037	Microscope slide	2	"
	3-038	Microscope cover slip	2	"
	3-039	Microscope objective	2	"
	3-040	Microscope eyepiece	2	"
	3-041	Microscope slide	2	"
	3-042	Microscope cover slip	2	"
	3-043	Microscope objective	2	"
	3-044	Microscope eyepiece	2	"
	3-045	Microscope slide	2	"
	3-046	Microscope cover slip	2	"
	3-047	Microscope objective	2	"
	3-048	Microscope eyepiece	2	"
	3-049	Microscope slide	2	"
	3-050	Microscope cover slip	2	"
	3-051	Microscope objective	2	"
	3-052	Microscope eyepiece	2	"
	3-053	Microscope slide	2	"
	3-054	Microscope cover slip	2	"
	3-055	Microscope objective	2	"
	3-056	Microscope eyepiece	2	"
	3-057	Microscope slide	2	"
	3-058	Microscope cover slip	2	"
	3-059	Microscope objective	2	"
	3-060	Microscope eyepiece	2	"
	3-061	Microscope slide	2	"
	3-062	Microscope cover slip	2	"
	3-063	Microscope objective	2	"
	3-064	Microscope eyepiece	2	"
	3-065	Microscope slide	2	"
	3-066	Microscope cover slip	2	"
	3-067	Microscope objective	2	"
	3-068	Microscope eyepiece	2	"
	3-069	Microscope slide	2	"
	3-070	Microscope cover slip	2	"

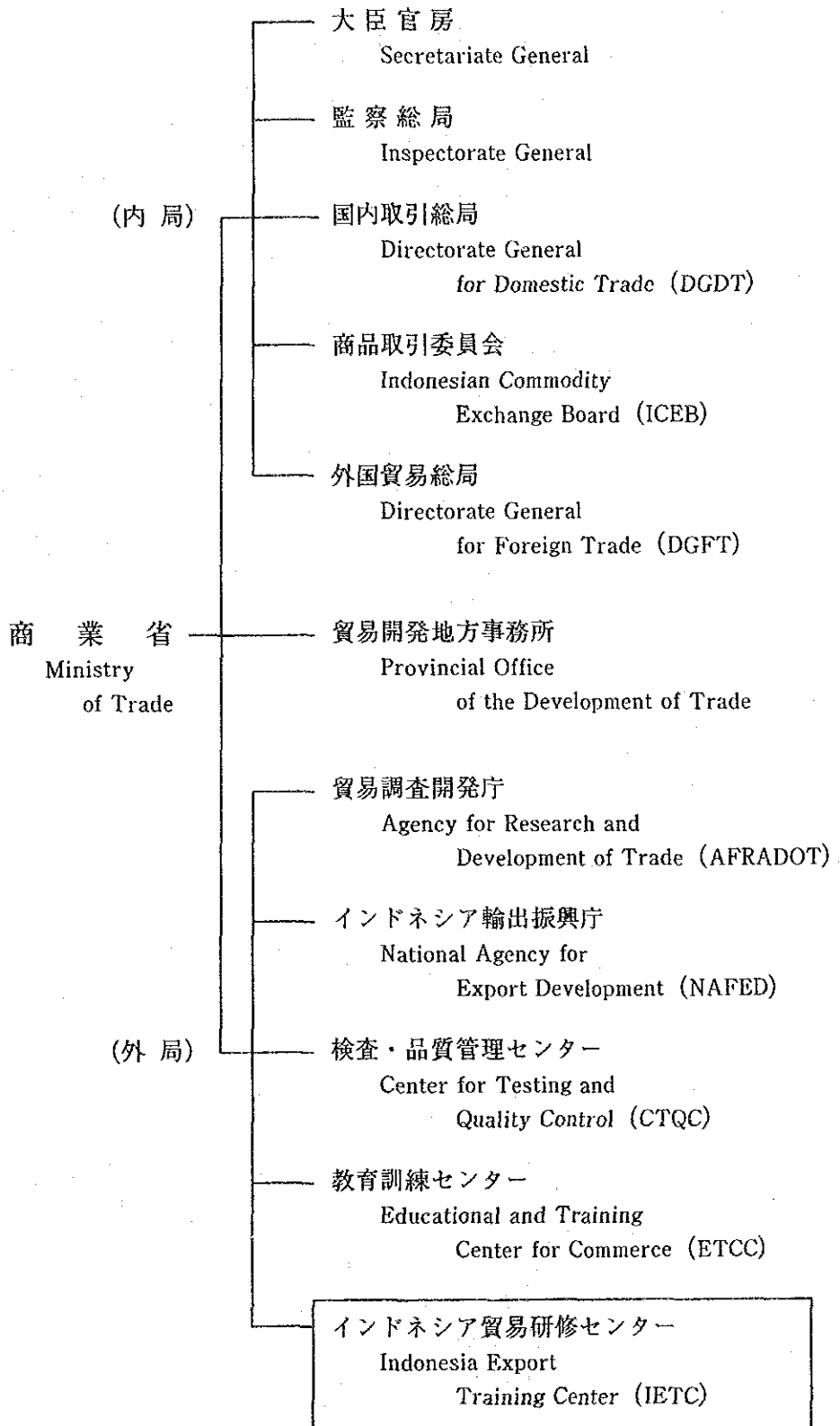
FY	Number	NAME OF EQUIPMENT	QTY	PLACE
1990	3-071	Pipette	1	RUBBER
	3-072	Pipette	1	"
	3-073	Pipette	1	"
	3-074	Pipette	1	"
	3-075	Pipette	1	"
	3-076	Pipette	1	"
	3-077	Pipette	1	"
	3-078	Pipette	1	"
	3-079	Pipette	1	"
	3-080	Pipette	1	"
	3-081	Pipette	1	"
	3-082	Pipette	1	"
	3-083	Pipette	1	"
	3-084	Pipette	1	"
	3-085	Pipette	1	"
	3-086	Pipette	1	"
	3-087	Pipette	1	"
	3-088	Pipette	1	"
	3-089	Pipette	1	"
	3-090	Pipette	1	"
	3-091	Pipette	1	"
	3-092	Pipette	1	"
	3-093	Pipette	1	"
	3-094	Pipette	1	"
	3-095	Pipette	1	"
	3-096	Pipette	1	"
	3-097	Pipette	1	"
	3-098	Pipette	1	"
	3-099	Pipette	1	"
	3-100	Pipette	1	"
	3-101	Pipette	1	"
	3-102	Pipette	1	"
	3-103	Pipette	1	"
	3-104	Pipette	1	"
	3-105	Pipette	1	"
	3-106	Pipette	1	"
	3-107	Pipette	1	"
	3-108	Pipette	1	"
	3-109	Pipette	1	"
	3-110	Pipette	1	"
	3-111	Pipette	1	"
	3-112	Pipette	1	"
	3-113	Pipette	1	"
	3-114	Pipette	1	"
	3-115	Pipette	1	"
	3-116	Pipette	1	"
	3-117	Pipette	1	"
	3-118	Pipette	1	"
	3-119	Pipette	1	"
	3-120	Pipette	1	"
	3-121	Pipette	1	"
	3-122	Pipette	1	"
	3-123	Pipette	1	"
	3-124	Pipette	1	"
	3-125	Pipette	1	"
	3-126	Pipette	1	"
	3-127	Pipette	1	"
	3-128	Pipette	1	"
	3-129	Pipette	1	"
	3-130	Pipette	1	"
	3-131	Pipette	1	"
	3-132	Pipette	1	"
	3-133	Pipette	1	"
	3-134	Pipette	1	"
	3-135	Pipette	1	"
	3-136	Pipette	1	"
	3-137	Pipette	1	"
	3-138	Pipette	1	"
	3-139	Pipette	1	"
	3-140	Pipette	1	"
	3-141	Pipette	1	"
	3-142	Pipette	1	"
	3-143	Pipette	1	"
	3-144	Pipette	1	"
	3-145	Pipette	1	"
	3-146	Pipette	1	"
	3-147	Pipette	1	"
	3-148	Pipette	1	"
	3-149	Pipette	1	"
	3-150	Pipette	1	"





FY	Number	NAME OF EQUIPMENT	QTY	PLACE
1991	4-125	plastic storage (type 25x)	1	FOOD
	4-126	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-127	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-128	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-129	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-130	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-131	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-132	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-133	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-134	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-135	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-136	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-137	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-138	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-139	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-140	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-141	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-142	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-143	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-144	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-145	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-146	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-147	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-148	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-149	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-150	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-151	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-152	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-153	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-154	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-155	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-156	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-157	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-158	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-159	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-160	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-161	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-162	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-163	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-164	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-165	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-166	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-167	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-168	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-169	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-170	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-171	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-172	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-173	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-174	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-175	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-176	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-177	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-178	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-179	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-180	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-181	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-182	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-183	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-184	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-185	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-186	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-187	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-188	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-189	plastic storage (type 25x)	1	"
	4-190	plastic storage (type 25x)	1	"

添付資料10. 商業省組織図





添付資料12. 貿易研修センター人員一覧

I E T C PERSONNEL

- |  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| I. Director of IETC                                | 1. Dr. Rosediana Suharto MSc        |
| II. Head, Administrative Division                  | 2. Drs. M. Djufri                   |
| - Personnel & Correspondence Sub Division ( Chief) | 3. Sri Astuti                       |
| - Staffs   | 4. Drs. Bambang Mulyatno, MBA (DPE) |
|  | 5. Viviarini, SH                    |
|  | 6. Drs. Herdiana (ROREN)            |
|  | 7. Respati Dyah                     |
|  | 8. Ernawati                         |
|  | 9. Didiek Widiyawati                |
|  | 10. Roni Tubiyanto                  |
|  | 11. Laksmono                        |
|  | 12. Sudjono                         |
|  | 13. Saripin                         |
| - Treasury Sub Division (Chief)                    | 14. Drs. Tjarisan Sarwo K.          |
| - Staffs   | 15. Sucipto                         |
|  | 16. Budiarti                        |
|  | 17. Norma Sulistyawati              |
|  | 18. Yulinar                         |
|  | 19. Sukendro                        |
| - General Affairs Sub Division (Chief)             | 20. Drs. Jacob Nenobais             |
| - Maintenance Staffs                               | 21. Denri Purba, SH                 |
|  | 22. Hermansyah                      |
|  | 23. Rusmiadi                        |
|  | 24. Johndrik G Dongoran             |
|  | 25. Rusdianto                       |
| - Operator   | 26. Siti Zunaedah                   |
|  | 27. Syafni Aliwanti                 |
| - Printing Unit                                    | 28. Sobirin                         |
|  | 29. Suhermanto                      |
| - Garden   | 30. Subeno                          |
| - Drivers  | 31. M. Maryono                      |
|  | 32. Sutiman                         |
|  | 33. Abdul Mutolib                   |

- Security
  - 34. Suparto
  - 35. Sumaryono
  - 36. Kusdianto
  - 37. Tuglyo
  - 38. Narek Bahon
  - 39. Petrus Karetaeng
  
- III. Head, Operational Division
  - 40. Drs. Nurdin Noor, MA
  - Training Program and Liaison Sub Division (Chief)
    - Staffs
      - 41. Drs. Halomoan Sinaga
      - 42. Drs. Nana Suryana
      - 43. Dra. Yuyun Wahyuni
      - 44. Drs. Ery N. Yunas
      - 45. Drs. Eko Supriyatno W.
      - 46. Drs. Sigit Purnomo
      - 47. Puspita Dewi, S.H
    - Participant and Training Administrative Sub Division (Chief)
      - 48. Dra. Titik Farida
      - Staffs
        - 49. Kamidin B Sinaga
        - 50. Mudjirah
        - 51. Armiwati
        - 52. Wijaya
        - 53. Roosfenny
        - 54. Suyanti
        - 55. E s t r i
        - 56. Danang Tri Utomo
    - Training Facilities Sub Division (Chief)
      - 57. BE Pandu Mulyono
      - Staffs
        - 58. Edy Sutaryo
        - 59. Ridwan Bachtiar
        - 60. La Dolo
        - 61. Ma'mun Sepud
        - 62. Rudi Ria Nirwana
    - Library
      - 63. Sumarso
      - 64. Evi Irawati
      - 65. Nurbaiti
    - Rubber Laboratory
      - 66. Dra. RA Marlana
      - 67. Maksum
    - Wood Laboratory
      - 68. Haryadi
      - 69. Oneng Pudjijanto
      - 70. Supriyanto
      - 71. R. Bambang Supriyadi

- Textile Laboratory 72. Yuniarti  
73. Rosni Irawati  
74. Achmad Muchtar
- Food Laboratory 75. Budi Handoko
- Dormitory 76. Rotua Manurung, BBA  
77. Anwar  
78. Iman Sutrisno CW
- Computer 79. Irwan Syafrul, BST
- Audio Visual 80. Ariful Fuadi  
81. Ramdani  
82. Sunarso

#### IV. Instructors/Counterparts

- Trade Training 83. Ir. Widayat  
84. Drs. Achbad Achmad  
85. Dra. Utari K.  
86. Dra. Handaya Retno  
87. Ir. Jarmansyah Jusuf
- Exhibition Management Training 88. Dra. Nendy Naswir  
89. Drs. SM Tambunan
- Inspection and Quality Control Training
  - Rubber/Rubber Products 90. Drs. Januar  
91. Ir. SE Nainggolan  
92. Sitti Zulhelmi, BSc  
93. Ir. Mashudi, MSc
  - Wooden/Rattan Products 94. Ir. Hardjono  
95. Ir. M. Kosasih
  - Textile/Garments 96. Dra. Nus Nuzulia I  
97. Ir. Huzairin Patunranqi  
98. Ir. Tusti Isriani
  - Frozen/Canned Foods 99. Dra. Husnainie  
100. Dra. Merry Maryati  
101. Drs. Wawan Sudarmawan  
102. Ir. Itmiwardi
- Business Japanese Language Training 103. Dra. Julia G. Silalahi  
104. Istiati Hendraswani  
105. Sutyaningsih, SS
- Others 106. Abdillah Sani, SH

Jakarta, 24 Mei 1993

(92.8計画打合せ時 98名)

添付資料13. 参 考 資 料

(トレーニングプログラム概要)

1. 貿易研修
2. 商業日本語研修
- 3-1. 輸出検査・品質管理研修—木製品・籐製品
- 3-2. 輸出検査・品質管理研修—繊維・衣料品
- 3-3. 輸出検査・品質管理研修—ゴム・ゴム製品
- 3-4. 輸出検査・品質管理研修—冷凍・缶詰食品
4. 展示研修



[参考資料1.: トレーニングプログラム内容 (貿易研修)]

Training Program

タイトル "Jadual Pelatihan Perdagangan Ekspor Spesialisasi Penerobosan  
(Pasar Amerika Serikat, Eropa dan Jepang)  
「特定市場への輸出対策研修プログラム  
(アメリカ合衆国、ヨーロッパ及び日本市場)」

日	内 容	講 師
第1日	<p>「アメリカ合衆国向けインドネシア輸出商品の見通しと機会」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 可能商品</li> <li>- 競争相手</li> <li>- 相手側</li> </ul> <p>「アメリカ合衆国市場への介入戦略」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 商品</li> <li>- プロモーション</li> <li>- サービス</li> </ul> <p>「アメリカ合衆国市場の消費者の行動様式を知る」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 消費者の嗜好</li> <li>- 文化</li> <li>- 購買習慣</li> </ul>	
第2日	<p>「日本市場向けインドネシア輸出商品の見通しと機会」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 可能商品</li> <li>- 競争相手</li> <li>- 相手側</li> </ul> <p>「日本市場への介入戦略」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 商品</li> <li>- プロモーション</li> <li>- サービス</li> </ul> <p>「日本市場の消費者の行動様式を知る」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 消費者の嗜好</li> <li>- 文化</li> <li>- 購買習慣</li> </ul>	
第3日	<p>「ヨーロッパ市場向けインドネシア輸出商品の見通しと機会」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 可能商品</li> <li>- 競争相手</li> <li>- 相手側</li> </ul> <p>「ヨーロッパ市場への介入戦略」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 商品</li> <li>- プロモーション</li> <li>- サービス</li> </ul> <p>「ヨーロッパ市場の消費者の行動様式を知る」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 消費者の嗜好</li> <li>- 文化</li> <li>- 購買習慣</li> </ul>	
第4日	<p>「輸入に関するアメリカ合衆国政府の法令」</p> <p>「輸入に関する日本政府の法令」</p> <p>「ヨーロッパ集中市場の輸入に関する政策に対する予測」</p>	
第5日	<p>「アメリカ合衆国市場への輸出経験」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 商談</li> <li>- 問題点</li> </ul> <p>「日本市場への輸出経験」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 商談</li> <li>- 問題点</li> </ul> <p>「ヨーロッパ市場への輸出経験」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 商談</li> <li>- 問題点</li> </ul>	
第6日	<p>「アメリカ合衆国市場介入のケーススタディ」</p> <p>「日本市場介入のケーススタディ」</p> <p>「ヨーロッパ市場介入のケーススタディ」</p> <p>閉講式</p>	

[参考資料 1. : トレーニングプログラム内容 (貿易研修)]

JADUAL PELATIHAN PERDAGANGAN EKSPOR SPESIALISASI PENEROBOSAN  
PASAR AMERIKA SERIKAT, EROPA DAN JEPANG)

PELAKSANAAN KEGIATAN	WAKTU	MATA PELAJARAN	INSTRUKTUR
HARI I		<p>PROSPEK DAN PELUANG PRODUK EKSPOR INDONESIA UNTUK PASAR AMERIKA SERIKAT</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Produk Potensial</li> <li>- Pangsa Pasar</li> <li>- Pesaing</li> <li>- Peluang</li> <li>- Tantangan</li> </ul> <p>Kudapan</p> <p>STRATEGI PENEROBOSAN PASAR AMERIKA SERIKAT</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Produk</li> <li>- Harga</li> <li>- Promosi</li> <li>- Saluran Distribusi</li> <li>- Pelayanan</li> </ul> <p>Istirahat/Makan Siang</p> <p>MENGENAL PERILAKU KONSUMEN PASAR AMERIKA SERIKAT</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Selera Konsumen</li> <li>- Gaya Hidup</li> <li>- Budaya</li> <li>- Musim</li> <li>- Kebiasaan Beli</li> </ul> <p>Kudapan</p>	
HARI II		<p>PROSPEK DAN PELUANG PRODUK EKSPOR INDONESIA UNTUK PASAR JEPANG</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Produk Potensial</li> <li>- Pangsa Pasar</li> <li>- Pesaing</li> <li>- Peluang</li> <li>- Tantangan</li> </ul> <p>Kudapan</p> <p>STRATEGI PENEROBOSAN PASAR JEPANG</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Produk</li> <li>- Harga</li> <li>- Promosi</li> <li>- Saluran Distribusi</li> <li>- Pelayanan</li> </ul> <p>Istirahat/Makan Siang</p> <p>MENGENAL PERILAKU KONSUMEN PASAR JEPANG</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Selera Konsumen</li> <li>- Gaya Hidup</li> <li>- Budaya</li> <li>- Musim</li> <li>- Kebiasaan Beli</li> </ul> <p>Kudapan</p>	

PELAKSANAAN KEGIATAN	WAKTU	MATA PELAJARAN	INSTRUKTUR
HARI III		<p>PROSPEK DAN PELUANG PRODUK EKSPOR INDONESIA UNTUK PASAR EROPA</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Produk Potensial</li> <li>- Pangsa Pasar</li> <li>- Pesaing</li> <li>- Peluang</li> <li>- Tantangan</li> </ul> <p>Kudapan</p> <p>STRATEGI PENEROBOSAN PASAR EROPA</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Produk</li> <li>- Harga</li> <li>- Promosi</li> <li>- Saluran Distribusi</li> <li>- Pelayanan</li> </ul> <p>Istirahat/Makan Siang</p> <p>MENGENAL PERILAKU KONSUMEN PASAR EROPA</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Selera Konsumen</li> <li>- Gaya Hidup</li> <li>- Budaya</li> <li>- Musim</li> <li>- Kebiasaan Beli</li> </ul> <p>Kudapan</p>	
HARI IV		<p>PERATURAN PEMERINTAH AMERIKA SERIKAT DI BIDANG IMPOR</p> <p>Kudapan</p> <p>PERATURAN PEMERINTAH JEPANG DI BIDANG IMPOR</p> <p>Istirahat/Makan Siang</p> <p>ANTISIPASI MENGHADAPI KEBIJAKSANAAN DI BIDANG IMPOR PASAR TUNGGAL EROPA</p> <p>Kudapan</p>	

PELAKSANAAN  
KEGIATAN

WAKTU

MATA PELAJARAN

INSTRUKTUR

HARI V

PENGALAMAN EKSPOR KE AMERIKA SERIKAT

- Komunikasi Dagang
- Negosiasi
- Kontrak
- Permasalahan
- Solusi

Kudapan

PENGALAMAN EKSPOR KE JEPANG

- Komunikasi Dagang
- Negosiasi
- Kontrak
- Permasalahan
- Solusi

Istirahat/Makan Siang

PENGALAMAN EKSPOR KE PASAR EROPA

- Komunikasi Dagang
- Negosiasi
- Kontrak
- Permasalahan
- Solusi

Kudapan

HARI VI

STUDI KASUS PENEROBOSAN PASAR AMERIKA SERIKAT

Kudapan

STUDI KASUS PENEROBOSAN PASAR JEPANG

Istirahat/Makan Siang

STUDI KASUS PENEROBOSAN PASAR EROPA

PENUTUPAN

Kudapan

[参考資料 2. : トレーニングプログラム内容 (商業日本語研修)]

Training Programm

タイトル "Jadual Pelatihan Bahasa Niaga Jepang Tingkat I Angkatan X "  
 「商業日本語研修プログラム 第1段階第10節」

実施期間 1993年6月8日～1993年7月17日

日	内 容	講 師
第1週 第1日 第2日 第3日	開講式 第1課「人を表現する」 第2課「ものを表現する」 第3課「場所を表現する」	I E T C所長 内田JICA専門家 Ms. Julia Ms. Julia Ms. Sutyarningsih Ms. Sutyarningsih
第2週 第1日 第2日 第3日	第3課 第4課「値段をたずねる」 第5課「行動について話す」 第6課	Ms. Julia Ms. Julia Ms. Sutyarningsih Ms. Sutyarningsih Ms. Istiati 内田JICA専門家
第3週 第1日 第2日 第3日	第6課 第1～6課の復習 中間テストI 中間テストII 第7課「存在と場所を示す」 第7課	Ms. Sutyarningsih Ms. Sutyarningsih Counterparts 内田JICA専門家 Ms. Julia Ms. Julia
第4週 第1日 第2日 第3日	第8課「状態を述べる」 第8課「形容詞」 第8課「過去の出来事を述べる」 第9課 第9課 第7～9課の復習	Ms. Julia Ms. Julia Ms. Julia Ms. Julia Ms. Sutyarningsih Ms. Sutyarningsih
第5週 第1日 第2日 第3日	第10課「依頼する」 第10課 第10課 第11課「許可と禁止」 第11課 第11課	Ms. Sutyarningsih Ms. Sutyarningsih Ms. Julia Ms. Julia Ms. Sutyarningsih Ms. Sutyarningsih
第6週 第1日 第2日 第3日	第1～6課の復習 第7～11課の復習 評価会 閉講式	Ms. Julia 内田JICA専門家 内田JICA専門家 Counterparts I E T C所長

[参考資料 2. : トレーニングプログラム内容 (商業日本語研修)]

JADUAL PELATIHAN BAHASA NIAGA JEPANG  
TINGKAT I ANGKATAN X  
TANGGAL, 8 JUNI - 17 JULI 1993

HARI/TANGGAL/ JAM	MATA PELAJARAN	PENGAJAR	RUANG
MINGGU I,			
Selasa, 8 Juni 1993			
15.00 - 17.30	PEMBUKAAN	En. POCU	Aula
17.45 - 19.00	PELAJARAN 1 (Identifying People)	Ms. Uchida	Seminar V
Kris, 10 Juni 1993			
15.00 - 17.30	PELAJARAN 1	Ms. Julia	Seminar V
17.45 - 19.00	PELAJARAN 2 (Identifying Things)	Ms. Julia	-sda-
Sabtu, 12 Juni 1993			
15.00 - 17.30	PELAJARAN 2	Ms. Niingsih	Seminar V
17.45 - 19.00	PELAJARAN 3 (Identifying Place)	Ms. Niingsih	-sda-
MINGGU II,			
Selasa, 15 Juni 1993			
15.00 - 17.30	PELAJARAN 3	Ms. Julia	Seminar V
17.45 - 19.00	PELAJARAN 4 (Asking Prices)	Ms. Julia	-sda-
Kris, 17 Juni 1993			
15.00 - 17.30	PELAJARAN 4 (Talking about Activities)	Ms. Niingsih	Seminar V
17.45 - 19.00	PELAJARAN 5	Ms. Niingsih	-sda-
Sabtu, 19 Juni 1993			
15.00 - 17.30	PELAJARAN 5	Ms. Istiati	Seminar V
17.45 - 19.00	PELAJARAN 5	Ms. Uchida	-sda-
MINGGU III,			
Selasa, 22 Juni 1993			
15.00 - 17.30	PELAJARAN 5	Ms. Niingsih	Seminar V
17.45 - 19.00	BAHASA MELANG P. 1-5	Ms. Niingsih	-sda-
Kris, 24 Juni 1993			
15.00 - 17.30	NIE TEST	C/P	Seminar V
17.45 - 19.00	NIE TEST	Ms. Uchida	-sda-
Sabtu, 26 Juni 1993			
15.00 - 17.30	PELAJARAN 7 (Indicating Existence & Location)	Ms. Julia	Seminar V
17.45 - 19.00	PELAJARAN 7 (Location)	Ms. Julia	-sda-

HARI/TANGGAL/ JAM	KATA PELAJARAN	PENGAJAR	RUANG
<b>MINGGU IV</b>			
Selasa, 29 Juni 1993			
16.00 - 17.30	PELAJARAN 8 (Describing Condition)	Ms. Julia	Seminar V
17.45 - 19.00	PELAJARAN 8 (Adj)	Ms. Julia	-sda-
Rabu, 1 Juli 1993			
16.00 - 17.30	PELAJARAN 8 (Describing Past Events)	Ms. Julia	Seminar V
17.45 - 19.00	PELAJARAN 9	Ms. Julia	-sda-
Sabtu, 3 Juli 1993			
16.00 - 17.30	PELAJARAN 9	Ms. Ningsih	Seminar V
17.45 - 19.00	BAHAS ULANG P. 7-9	Ms. Ningsih	-sda-
<b>MINGGU V</b>			
Selasa, 6 Juli 1993			
16.00 - 17.30	PELAJARAN 10 (Making Request)	Ms. Ningsih	Seminar V
17.45 - 19.00	PELAJARAN 10	Ms. Ningsih	-sda-
Rabu, 8 Juli 1993			
16.00 - 17.30	PELAJARAN 10	Ms. Julia	Seminar V
17.45 - 19.00	PELAJARAN 11 (Permission and Prohibition)	Ms. Julia	-sda-
Sabtu, 10 Juli 1993			
16.00 - 17.30	PELAJARAN 11	Ms. Ningsih	Seminar V
17.45 - 19.00	PELAJARAN 11	Ms. Ningsih	-sda-
<b>MINGGU VI</b>			
Selasa, 13 Juli 1993			
16.00 - 17.45	BAHAS ULANG P. 1-5	Ms. Julia	Seminar V
17.45 - 19.00	BAHAS ULANG P. 7-11	Ms. Uchida	-sda-
Rabu, 15 Juli 1993			
16.00 - 17.45	EVALUASI	C/P & Expert	Seminar V
17.45 - 19.00	EVALUASI	C/P & Expert	-sda-
Sabtu, 17 Juli 1993			
15.00 -	PENUTUPAN	Kepala PPBT	Aula

[参考資料 3-1.: トレーニングプログラム内容 (輸出検査・品質管理研修—木製品・籐製品)]

Training Program

タイトル "Pelatihan Pengawasan dan Pengendalian Mutu Mebel, Barang Jadi Kayu dan Rotan Angkatan XI"

「木・籐製品、家具の品質管理・工程管理研修 第11節」

実施期間 1993年7月1日～1993年7月16日

No. 1

日	内 容	講 師
第1日	登録 オリエンテーション 「木・籐製品の輸出経営法」 「インドネシアにおける家具産業と（輸出の）機会及び競争相手」 「J I S規格の家具強度テストの理論」	I E T C所長 輸出局長 インドネシア家具・民芸品協会 (ASMINDO) Mr. Hardjono
第2日	「家具の塗料・塗装」 「消費者（とりわけ日本の）に受け入れられる品質の家具生産」 「J I S規格の椅子強度試験の実践」	Dayin Prima Paint 社 竹内JICA専門家 & Mr. Hardjono Mr. Hardjono & IETC Team
第3日	「家具の接着剤と接着」 「家具の材料としての木材・籐」 「J I S規格の机強度試験の実践」	森林産物調査開発局 (P3HH) 森林産物調査開発局 (P3HH) Mr. Hardjono & IETC Team
第4日	「木製家具のデザイン、構造及びユニットオペレーション」	スマラン木材産業開発研修局 (PPPIK)
第5日	「工程管理と効率性による生産性の向上」	スマラン木材産業開発研修局 (PPPIK)
第6日	「家具用木材の加工」 「家具用籐の加工」 「家具材料検査の理論と実践」	森林産物調査開発局 (P3HH) 森林産物調査開発局 (P3HH) Mr. Hardjono & IETC Team
第7日	「規格規定の認識」 「家具材料検査の実践（サイズ）」 「木・籐製家具の品質評価」 「J I S規格のキャビネット類強度試験の実践」	Mr. M. Kosasih Mr. Hardjono Mr. Hardjono Mr. Hardjono & IETC Team



日	内 容	講 師
第8日	「木・籐製家具の輸出検査の慣習と過程」 「木・籐製家具のための塗装」 「木・籐製家具の接着メカニズムと強度試験の理論と実践及びダボ釘の強度試験」	Sucofindo 社 インドネシア塗装研究機関 (IPI) Mr. M. Kosasih & IETC Team
第9日	「仕上げ検査の理論と実践」 「木・籐材料の接着メカニズムと強度試験の実践」 「仕上げ検査の実践 (接着の耐久性)」 「家具材料の検査実践 (含水率)」	Mr. Hardjono Mr. M. Kosasih & IETC Team Mr. Hardjono & IETC Team Mr. Hardjono & IETC Team
第10日	「接合部位強度と品質保証の工程管理」 「家具塗装適用の理論と実践」 「家具の染料塗装適用の理論と実践」 家具の染料塗装適用に関する討論	Mr. H. Jannuar Ppropan Raya社 Ppropan Raya社 Ppropan Raya社 (司会: Mr. Hardjono)
第11日	「木・籐製家具の品質管理と工程管理」 「ベビーボックス検査の理論と実践」 「JIS規格のベビーボックス検査の実践」	Mr. M. Kosasih 竹内JICA専門家 & Mr. Hardjono
第12日	現場学習 (木・籐製家具工場訪問 I) 現場学習 (木・籐製家具工場訪問 II)	Mr. Hardjono Mr. M. Kosasih
第13日	レポート作成指導 「塗膜の検査理論」 「塗膜の検査実践」	Mr. Hardjono Mr. Hardjono Mr. Hardjono
第14日	研修評価会 材料、デザイン、構造及び仕上げ検査についての討論 木・籐製家具工場訪問 I の成果についての討論 木・籐製家具工場訪問 II の成果についての討論 閉講式	Mr. Hardjono Mr. Hardjono & Mr. M. Kosasih Mr. Hardjono Mr. M. Kosasih